末日聖徒イエス・キリスト教会・2003年9月号

リアホナ

更（さら）にすぐれた契約の保証，2ページ

カナダ・マニトバで賛美歌を伴奏する，18ページ

2003年9月20日発行（毎月1回20日発行）第5巻第9号　昭和42年12月18日第3種郵便物認可　ISSN 1344-8595

末日聖徒イエス・キリスト教会・2003年9月号

リアホナ

表紙

表紙――「キリストとサマリヤの女」カール・ヘンリック・ブロック画，デンマーク，ヒレレズのフレズレクスボー城内にある国立歴史美術館の厚意により掲載。
裏表紙――「良いサマリヤ人のたとえをお教えになるキリスト」ロバート・T・バレット画。

「フレンド」表紙
絵／マーク・W・ロビソン

「信仰により教える」
10ページ参照

一般

2 **大管長会メッセージ――「更にすぐれた契約の保証」**
第二副管長　ジェームズ・E・ファウスト
10 **信仰により教える**　十二使徒定員会　ロバート・D・ヘイルズ
25 **家庭訪問メッセージ――個人の啓示を受けるために備える**
30 **パブロおじいさんを探して**　ラケル・ペドラサ・デ・ブロシオ
32 **イエスのたとえ――働き人**　地域幹部七十人　ヘンリー・F・アセベド
36 **初期の使徒たちの言葉――教会を築き上げる**　七十人　リチャード・J・メインズ
40 **末日聖徒の声**
父の勇気のメダル　エマニュエル・フレッキンジャー
娘の祈り　カリ・アン・ラスマセン
赦しを通して得た平安　匿名
濃霧の中の羅針盤　林宗廷
44 **最も小さい者に**　ビクトル・ギジェルモ・チャウカ・リベラ
48 **『リアホナ』2003年9月号の活用法**

青少年

7 **ポスター――強いリンクになろう**
8 **大金を見つけました**　七十人　D・レックス・ジェレット
18 **一小節ずつ，こつこつと**　シャンナ・ガズナビ
22 **愛をもって**　ステファニア・ポスティグリオーネ
24 **アイデアリスト――ミューチャルを最大限に活用する**
26 **もう少し背が高かったら**　チャド・モリス
47 **御存じでしたか？**

フレンド

2 **預言者の声――雪の上の足あと**
第一副管長　トーマス・S・モンソン
4 **分かち合いの時間――正しかれ**
ビッキー・F・マツモリ
6 **気にかけてくれた先生**　タムラ・フレーク・クライサー
8 **せかい中で**　ジャン・ピンボロー
10 **新約聖書ものがたり――あくにんたち，ステパノをころす／パウロ，イエスを知る**
14 **小さなお友だちへ**
――ぼくたち，これから初等協会へ行くんだ
16 **しんでんカード**

「雪の上の足あと」
「フレンド」2ページを見ましょう。

リアホナ　2003年9月号
第5巻第9号(23989 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)
大管長会: ゴードン・B・ヒンクレー, トーマス・S・モンソン, ジェームズ・E・ファウスト
十二使徒定員会: ボイド・K・パッカー, L・トム・ペリー, デビッド・B・ヘイト, ニール・A・マックスウェル, ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, ジョセフ・B・ワースリン, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホランド, ヘンリー・B・アイリング
編集長: デニス・B・ノイエンシュバンダー
顧問: モンティ・J・ブラフ, J・ケント・ジョリー, W・ロルフ・カー, スティーブン・A・ウェスト
実務運営ディレクター: デビッド・L・フリッシュニクト
編集ディレクター: ビクター・D・ケーブ
グラフィックスディレクター: アラン・R・ロイボーグ
編集主幹: リチャード・M・ロムニー
編集主幹補佐: マービン・K・ガードナー, ビビアン・ポールセン, ドン・L・サール
編集スタッフ: コレット・ネベカー・オーヌ, スーザン・バレット, ライアン・カー, リンダ・ステール・クーパー, ラリーン・ポーター・ガーント, シャナ・ガズナビ, ジェニファー・L・グリーンウッド, リサ・アン・ジャクソン, キャリー・カステン, メルビン・リービット, サリー・J・オデカーク, アダム・C・オルソン, ジュディス・M・パーラー, ジョナサン・H・スティーブンソン, レベッカ・M・テーラー, ロジャー・テリー, ジャネット・トーマス, ポール・バンデンバーグ, ジュリー・ワーデル, キンバリー・ウェッブ, モニカ・ウィークス
実務運営アートディレクター: M・M・カワサキ
アートディレクター: J・スコット・クヌーセン, スコット・バン・カンペン
制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ
デザイン・制作スタッフ: ケリー・アレンブラット, フェイ・P・アンドラス, C・キンボール・ボット, ハワード・ブラウン, トーマス・S・チャイルド, レジナルド・J・クリステンセン, ブレント・クリスティソン, シャリー・クック, ケリー・リン・C・ヘリン, キャスリーン・ハワード, デニーズ・カービー, タッド・R・ピーターソン, ランドール・J・ピクストン, マーク・W・ロビソン, ブラッド・ティアー, カリ・A・トッド, クラウディア・E・ワーナー
マーケティング部長: ラリー・ヒラー
印刷ディレクター: クレーグ・K・セジウィック
配送ディレクター: クリス・T・クリステンセン
●定期購読は,『リアホナ』注文用紙」でお申し込みになるか, 郵便振替(口座名／末日聖徒イエス・キリスト教会　振替口座番号／00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ, 直接郵送いたします。●『リアホナ』のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6／末日聖徒イエス・キリスト教会　管理本部配送センター 電話 03-5668-3391
発行所　末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30
電話　03-3440-2351
定価　年間予約／海外予約2,400円(送料共)
半年予約1,200円(送料共)
普通号／大会号200円
『リアホナ』への投稿およびご質問は, 下記の連絡先にお送りください。
Room 2420, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150-3220, USA
Eメール: cur-liahona-imag@ldschurch.org

『リアホナ』(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は, 以下の言語で出版されています。
アイスランド語, アルバニア語, アルメニア語, イタリア語, インドネシア語, ウクライナ語, 英語, エストニア語, オランダ語, 韓国語, カンボジア語, キリバス語, クロアチア語, サモア語, シンハラ語, スウェーデン語, スペイン語, スロベニア語, セブアノ語, タイ語, タガログ語, タヒチ語, タミル語, 中国語, チェコ語, テルグ語, デンマーク語, ドイツ語, トンガ語, 日本語, ノルウェー語, ハイチ語, ハンガリー語, フィージー語, フィンランド語, フランス語, ブルガリア語, ベトナム語, ポーランド語, ポルトガル語, マーシャル語, マダガスカル語, モンゴル語, ラトビア語, リトアニア語)ルーマニア語, ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)
c 2003 Intellectual Reserve, Inc. 版権所有。
印刷所: 日本
英語版承認ー1996年8月　翻訳承認ー1996年8月
原題ーInternational Magazines September 2003. Japanese. 23989 300

For Readers in the United States and Canada:
September 2003 no. 9 *LIAHONA* (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-4729) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is $10.00 per year; Canada, $16.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. and at additional mailing offices. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address *must* be included. Send USA and Canadian subscriptions and queries to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

『リアホナ』の切り抜きページ

『リアホナ』はこれまでわたしにとって大きな助けになってきました。たくさんのことを学べましたし, 生ける預言者の言葉に触れることは何よりの喜びです。

「フレンド」は家庭の夕べで子供たちに福音を教えるうえで, いろいろなアイデアを提供してくれます。「フレンド」に掲載されている資料はほんとうによくできています。ところが, ゲームや活動のページを切り抜いてしまうと, 後で使いたいと思うお話や絵をだめにしてしまうことになるのがとても残念です。切り抜きページの裏を破損せずに, 使いたい部分を活用できる方法があればと思います。

メキシコ・シウダーフアレス北ステーク, フロンテラワード
マグダレーナ・ベラスケス・デ・セルバンテス

編集室より——*このようなご意見は度々寄せられています。確かに記事の一部を切り抜いてしまうと後が不便だということはよく分かります。しかし, 子供向けの冊子を一部切り抜き, しかもほかのページに影響が出ないように構成しようとすると, 16ページしかない紙面の一部を空白にしなければなりません。空白部分を出すよりはむしろ, 切り抜きの影響を最小限に抑えるよう, 工夫することにしています。地域によっては, 必要な部分のコピーを取って, 実際の冊子の代わりにコピーを切り抜くこともできるでしょう。*

ロシアから感謝を込めて

わたしたちの集う支部で働いてくれる専任宣教師の方々に心から感謝しています。これまでの2年間この町は宣教師の長老, 姉妹からたくさんの祝福を受けてきました。宣教師たちは, この世の悪から人の魂を救うために, 温かい家庭, 愛する家族, 親しい友人と別れてこの地にやって来てくれました。

この町の学校や大学では英語教師が不足していますので, 宣教師の英会話クラスはとても大きな助けになっています。また, 家や病院に閉じこもりがちな老人や病人に働きかけてくれることにも感謝しています。中でもいちばんすばらしいのは, 彼らの中にあるイエス・キリストへの深く, 強い信仰です。

このような善良で献身的な若人を育ててくださった親御さんにも心から感謝しています。宣教師たちがいつも誠実で, 熱心に伝道し, 関心を示し, 心を配ってくれることに感謝しています。また, 優しい心を持ち, 有能で, だれに対しても愛を示してくれることにも感謝しています。

ロシア・イェカテリンバーグ伝道部
サーグット支部の会員たち

成長の糧

伝道から帰還して以来, わたしは学校の関係で家族と離れた生活を余儀なくされています。しかし, たとえ一人になっても, 心を奮い立たせてくれるものが一つあります。それは『リアホナ』です。『リアホナ』は, わたしが常に成長できるよう霊感を与えてくれますし, 励ましの声でもあります。そして毎日, 昨日の自分よりもさらに善い自分になれるよう助けてくれるのです。

ペルー・カハマルカステーク, プエブロリブレ支部
レニン・エンリケ・コロニア・コルドバ

GOSPEL ACCORDING
MATTHEW

更にすぐれた契約の保証

第二副管長
ジェームズ・E・ファウスト

使徒パウロは古い契約から新しい契約に変わるときに，考え方の調整を図る必要があることをよく知っていました。それは，モーセが教えた律法を文字どおりに守る厳格な形式主義から，聖なる御霊によって知る霊的な導きへの移行です。

パウロはヘブル人への手紙の中で，この調整のことを次のように述べています。「（〔モーセの〕律法は，何事をも全うし得なかったからである），他方では，さらにすぐれた望みが現れてきて，わたしたちを神に近づかせるのである。……このようにして，イエスは更にすぐれた契約の保証となられたのである。」（ヘブル7：19，22。ジョセフ・スミス訳ヘブル7：19－20〔英文〕も参照）

救い主がお教えになった厳しい教義，すなわち「更にすぐれた契約の保証」を研究し，学び，これに従って生活することは，とても大切です。そうするときにキリストに似た行動によって，より高い水準の霊性が得られるようになります。

「更にすぐれた契約」の保証人

保証とは何でしょうか。辞書を引くと，*保証*とは「確かであると請け合うこと」とあります。また，「約束を守るしるしに差し出す」担保でもあります。さらに保証人とは，「ほかの人の債務，返済の不履行，あるいは義務を果たさない行為に対して法的に義務を負う人」[1] を指します。救い主は御自分の使命を果たすに当たって，これらすべての役割を引き受けてはおられないでしょうか。

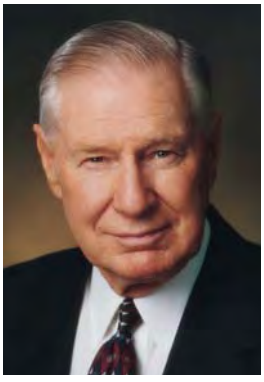
契約とは何でしょうか。わたしたちにとって*契約*の根本的な意味は，それが神との聖約であるということです。それはまた聖なる書物，遺言，証言，有形の証拠，信条表明でもあります。[2] したがって，契約に関して，救い主は神との「更にすぐれた契約」の保証人と言えるのです。

より厳しい教義

新しい契約は「更にすぐれた契約」です。なぜならそこでは，人の意思や動機が行動の善あるいは悪の一部と見なされるからです。つまり，悪事をなそうとする意思，あるいは善行をなしたいと思う望みが，行為とは別に考慮される独立した要素となるのです。人は一つには心の思いによって裁かれると言われています（教義と聖約88：109参照）。思いそのものによって罪があるとされる例がマタイによる福音書の中にあります。

「『姦淫するな』と言われていたことは，あなたがたの聞いているところである。

しかし，わたしはあなたがたに言う。だれ



救い主により教えられた厳しい教義を研究し，学び，これに従って生活することが大切です。そうするときに，キリストに似た行動によってより高い水準の霊性を得られるようになります。

左――背景写真／ジェド・A・クラーク。「キリストと若い金持ちの役人」の一部。ハインリッヒ・ホフマン画。右――写真／ドン・プサス

でも，情欲をいだいて女を見る者は，心の中ですでに姦淫をしたのである。」（マタイ5：27－28）

このように，新しい契約はより厳しい教義です。

昔，イギリスのコモンロー（慣習法）の執行に当たっては，形式の尊重と厳正さが重んじられました。そこで公正を期するために衡平法（訳注――イギリスを起源とする法のシステム。権利を保護し，公平と正義に基づく，普遍的な法の施行を目指している）が定められました。公正についてのわたしの好きな格言の一つは，「公正はなすべきことをする」というものです。新しい契約にはそれをはるかに勝る律法の概念があります。大きな尺度から言えば，人は自分が行ったことだけでなく，その状況でどう行うべきであったかということによっても裁かれるのです。

より高い律法

新しい契約のこのより高い律法の精神の多くが山上の垂訓の中に見いだされます。ここでイエスは，主の律法によれば人は主のもとに来る前に人と和解しなければならないと教えておられます。

「だから，祭壇に供え物をささげようとする場合，兄弟が自分に対して何かうらみをいだいていることを，そこで思い出したなら，

その供え物を祭壇の前に残しておき，まず行ってその兄弟と和解し，それから帰ってきて，供え物をささげることにしなさい。」（マタイ5：23－24）

より厳しい教義のもう一つの例が次の言葉です。ここでは，誓いを立てることがまったく禁じられています。

「昔の人々に『いつわり誓うな，誓ったことは，すべて主に対して果せ』と言われていたことは，あなたがたの聞いているところである。

しかし，わたしはあなたがたに言う。いっさい誓ってはならない。……

あなたがたの言葉は，ただ，しかり，しかり，否，否，であるべきだ。それ以上に出ることは，悪から来るのである。」（マタイ5：33－34，37）

新しい契約の厳しい教義としてさらに次のような言葉があります。

「悪人に手向かうな。もし，だれかがあなたの右の頬を打つなら，ほかの頬をも向けてやりなさい。

あなたを訴えて，下着を取ろうとする者には，上着をも与えなさい。……

『隣り人を愛し，敵を憎め』と言われていたことは，あなたがたの聞いているところである。

しかし，わたしはあなたがたに言う。敵を愛し，迫害する者のために祈れ。」（マタイ5：39－40，43－44）

新しい契約の中で，救い主は，新たな，より高尚な祈りの形式と目的を説いておられます。それは非常に簡単で簡潔です。

「祈る場合，異邦人のように，くどくどと祈るな。彼らは言葉かずが多ければ，聞きいれられるものと思っている。

だから，彼らのまねをするな。あなたがたの父なる神は，求めない先から，あなたがたに必要なものはご存じなのである。

だから，あなたがたはこう祈りなさい，天にいますわれらの父よ，御名があがめられますように。

御国がきますように。みこころが天に行われるとおり，地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの食物を，きょうもお与えください。

わたしたちに負債のある者をゆるしましたように，わたしたちの負債をもおゆるしください。

わたしたちを試みに会わせないで，悪しき者からお救いください。王国と力と栄光はとこしえにあなたのものだからです。アーメン。」（欽定訳マタイ6：7－13から和訳）

また新しい契約の中で，救い主は，善行をなすときにより良い方法で行う，すなわちひそかに行うべきであると教えておられます。

「あなたは施しをする場合，右の手のしていることを左の手に知らせるな。

それは，あなたのする施しが隠れているためである。すると，隠れた事を見ておられるあなたの父は，報いてくださるであろう。」（マタイ6：3－4）

しかし，最大のチャレンジ，すなわち最も厳しい教義もまた山上の垂訓の中に見いだされます。「それだから，あなたがたの天の父が完全であられるように，あなたがたも完全な者となりなさい。」（マタイ5：48）

「新しい契約の仲保者」として，救い主はより高い律法を紹介されました。イエスが人々に与えられたチャレンジは，モーセの律法の厳格かつ厳密な「……してはならない」という教えを「更にすぐれた契約」の精神に置き換えることでした。

左――「良いサマリヤ人のたとえをお教えになるキリスト」ロバート・T・バレット画。「海辺で人々をお教えになるイエス」ジェームズ・J・ティソット画

「新しい契約の仲保者」として（ヘブル9：15），救い主はまた，より高い結婚の律法を紹介されました。あるパリサイ人たちが救い主のもとに来て，「夫はその妻を出しても差しつかえないでしょうか」と問いかけたとき（マルコ10：2），救い主は次のように答えられました。

「天地創造の初めから，『神は人を男と女とに造られた。

それゆえに，人はその父母を離れ，

ふたりの者は一体となるべきである。』彼らはもはや，ふたりではなく一体である。

だから，神が合わせられたものを，人は離してはならない。」（マルコ10：6－9）

不朽の業

霊的に未熟な古代イスラエルの人々に必要であったモーセの律法は，厳格かつ厳密な「……してはならない」という教えでした。イエスがお与えになったチャレンジは，この教えを「更にすぐれた契約」の精神に置き換えることです。これはどのようにして行う必要があったのでしょうか。時間は限られていました。救い主には3年しかありませんでした。どのように始めなければならなかったでしょうか。使徒たちと，周りの少数の弟子たち，すなわちその後の業を遂行する責任を負う人々から始めなければならなかったことは明らかです。

Ｊ・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長（1871－1961年）は，このチャレンジについて次のように述べています。「この業は，ユダヤ人の中で幾世紀もの歴史を持つモーセの律法を廃し，律法としての効力を消滅させ，キリストの福音に置き換えることが含まれていました。」[3]

イエスの使徒たちでさえこれを理解することは容易ではありませんでした。理解を欠いていた人の一例がトマスです。トマスは様々な折に，救い主が御自分の死と復活を予告されたのを耳にしていました。しかし，復活した救い主が生きておられると聞いたとき，トマスはこう述べました。「わたしは，その手に釘（くぎ）あとを見，わたしの指をその釘あとにさし入れ，また，わたしの手をそのわきにさし入れてみなければ，決して信じない。」（ヨハネ20：25）そのような偉大な出来事はかつて一度も起こっていなかったのですから，トマスは赦（ゆる）されるでしょう。

イエス・キリストの福音はすべての人のためにある，という偉大な原則をペテロが受け

新しい契約のこのより高い律法の精神の多くが山上の垂訓の中に見いだされます。

入れていく過程は，理解を得るのがこのようにゆっくりであったというもう一つの実例です。ペテロは，ペテロの第二の手紙の中で述べているように，一人の目撃者でした。「わたしたちの主イエス・キリストの力と来臨とを，あなたがたに知らせた時，わたしたちは，巧みな作り話を用いることはしなかった。わたしたちが，そのご威光の目撃者なのだからである。」（1：16）何に対する目撃者であったのでしょうか。救い主の務めすべてに対する目撃者だったのです。

キリストがヤコブの井戸の所でサマリヤ人に出会われた後，ペテロは，ユダヤ人から嫌われていたサマリヤ人を救い主が快く受け入れておられるのを見ました（ヨハネ4章参照）。しかしペテロは，示現を目にし，「神がきよめたものを，清くないなどと言ってはならない」と語られた主の声を耳にしたとき（使徒10：15），ひどく困惑しました。そしてついにペテロはその指示を完全に受け入れ，霊的な確信を得て，「口を開いて言った，『神は人をかたよりみないかたで，神を敬い義を行う者はどの国民でも受けいれて下さることが，ほんとうによくわかってきました。』」（使徒10：34－35）

使徒たちはついには「更にすぐれた契約」を理解し，受け入れることとなりました。わたしたちは「ご威光の目撃者」としての使徒たちの深遠な声明に感謝しています。彼らは救い主から教えられたより高い律法を信じる信仰の基の一部を築いたのです。

事実，イエスはキリストであられるという使徒たちの証を振り返ることは非常に力になります。これらの証もまた「更にすぐれた契約の保証」です。例えば，救い主は偉大な命のパンの説教をされた後，パンと魚をお与えになった人々に，主とその教義が命のパンであることを明らかにされました。ヨハネは次のように記しています。

「それ以来，多くの弟子たちは去っていって，もはやイエスと行動を共にしなかった。

そこでイエスは十二弟子に言われた，『あなたがたも去ろうとするのか。』

シモン・ペテロが答えた，『主よ，わたしたちは，だれのところに行きましょう。永遠の命の言（ことば）をもっているのはあなたです。

わたしたちは，あなたが神の聖者であることを信じ，また知っています。』」（ヨハネ6：66－69）

しかし，救い主が行われた数々の奇跡も，また救い主を見，その言葉を聞いた人々の証も，すべての人に確信をもたらしたわけではありません。その理由は，恐らく証がこのような個人的かつ霊的な確信だからです。

今日（こんにち）におけるチャレンジ

新しい契約は「更にすぐれた契約」です。なぜならば，それは心と思いの向きに，また聖なる御霊（みたま）の促しに多くが任されるからです。この魂の浄化は個人的なイエス・キリストの証を築く骨組みの一部なのです。心の中に，また思いの中に聖霊の力による証がなければ，証は決して存在し得ないのです。

救い主が新しい契約の中で教えられた厳しい教義について研究し，学び，これに従って生活しましょう。そうするときに，キリストに似た行動によってより高い水準の霊性を得られるようになるでしょう。■

注

1. *Merriam-Webster's Collegiate Dictionary*，第10版（1993年），1185
2. *Merriam-Webster's Collegiate Dictionary*，1218 参照
3. *Why the King James Version*（1956年），51

ホームティーチャーへの提案

よく祈って準備した後，あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて，このメッセージを分かち合ってください。次に挙げるのはその一例です。

1．家族の人々に，守るのが最も難しいと思う戒めを幾つか挙げてもらう。ファウスト副管長が述べている，より厳しい，またより高い教義を少し読んで，なぜそれに従って生活するのが難しいか話し合う。最後の2段落を読んで話し合う。新約聖書に記されている救い主の教義についてのあなたの証を述べる。

2．聖書を見せて，家族の人々に，新約聖書と旧約聖書について考えていること，あるいは感じていることを分かち合ってもらう。これら二つの書の違いは何だと思うか尋ねる。このメッセージの最初の3段落を読む。新しい契約が「更にすぐれた契約」である理由についてファウスト副管長の教えを幾つか分かち合う。イエス・キリストの絵を見せて，新しい契約に対するあなたの感謝の気持ちを述べる。

強いリンクになろう

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこう勧告しています。
「世代という鎖の中で，弱いリンクにならないでください。」
あなたの福音への忠実さが，家族を強めるのです。
「わたしたちの遺産」『リアホナ』2000年1月号，36参照

写真／クリスティーナ・スミス，コンピューター合成／マーク・G・バッド

大金を見つけました

七十人
D・レックス・ジェレット

1枚の10ドル札を見ても，そのほんとうの価値は計り知れないものです。

13歳か14歳のある日，学校の近くのスーパーに行きました。このスーパーには評判のアイスクリームがあったので，よくクラスメートと一緒に昼休みにダブルデッカーアイスクリーム（訳注――丸い形にすくったアイスの固まりが2段重ねになったアイスクリーム）を食べに行ったものです。

ある日アイスクリームを食べていると，足もとの床に10ドル札が落ちていました。50年以上も前，10ドルといったら少年には大きな額でした。「この10ドル札で何ができるか考えてみろ。」サタンがそう誘惑してきました。

両親の教えのおかげで，わたしはその声を無視することができました。レジの女性に届けて，床で見つけたと伝えたのです。するとその女性が言いました。「まあ，正直な子ね。名前を言って。書いておくから。もしだれもこの10ドルを取りに来なかったら，あなたに返すようにするからね。」

10ドル札は彼女に渡して帰りました。その午後，ある少年がレジの女性のところに来て，10ドル札を見なかったかと聞くと，次のような返事が返ってきました。「あるわよ。はい，これがあなたのお金を拾った子の名前。」

この少年は礼を言うためにわたしを探してくれました。わたしたちはとても仲良くなりました。

しかしこれは話の始まりにすぎません。この友情を大切に思い，わたしのことを気に入ってくれた彼は，わたしを自分の家族に紹介してくれました。彼のきょうだいたちが結婚すると，わたしはそれぞれの家族とも仲良くなりました。そして生涯にわたって，この10ドル札のおかげで10から12の家族と親しくしてきました。何度も家庭におじゃましましたし，監督として子供たちを面接したこともあります。この50年間，子供たちの神殿結婚やそのほかたくさんの家族の行事に招待されてきました。子供たちのみならず，その親たちとも親睦（しんぼく）を深めてきました。ほんとうにすばらしい一族です。

あの10ドル札を自分のものにしてしまえという誘惑に，それほど引き込まれなかったことに感謝しています。これも，善い父母から正直の原則を教えられていたからです。正直でいることにより人生で得てきた祝福に感謝しています。正直によってたくさんの可能性が広がりました。人の目を見て「いつも正直であるよう努めてきました」と言えることは，とてもすがすがしいものです。

自分の9人の子供にも正直でいることについて教えてきました。1枚の10ドル札を見ても，そのほんとうの価値は計り知れないものだと教えました。もちろん額面どおりの価値はありますが，わたしとこの家族との友情はお金には換えられない価値があります。わたしの人生において彼らはそれほど大きな祝福なのです。

1枚の10ドル札を見ても，そのほんとうの価値は計り知れないものです。■

絵／リチャード・ハル

VANILLA
STRAWBERRY
CHOCOLATE
R. HULL 03

信仰により教える

アビナダイは御霊によって教えたにもかかわらず，ノア王は心を動かされませんでした。しかし，アルマは改心しました。御霊によって教え証するならば，その言葉は，教えを受ける準備のできている人々のもとに届くことを約束します。

御霊によって教えると，若人の心は動かされ，生活が変わります。

十二使徒定員会
ロバート・D・ヘイルズ

家庭でも教会でも，福音の教師にはたくさんの責任があります。しかし，責任を果たすためには，まず教師自身が義にとどまる努力をする必要があります。若人の教師や親として，御霊がいつもともにあるよう，福音に従って生活しなければなりません。ふさわしい生活をするなら，御霊は常にわたしたちのもとにとどまるでしょう。そうすれば，御霊によって教えることができるのです。御霊によって教えるとき，若人はそのことを感じ，御霊を受けることができます。心が動かされて，生活が変わるのです。

モーサヤ書に記されている，アビナダイの話を思い出してください。アビナダイは縛られて邪悪な王ノアの前に引き出されましたが，火のように燃える御霊によって福音を教えました。厳しく，また具体的な警告を発して，悔い改めの原則を大胆に教えたのです。アビナダイは御霊によって教えたにもかかわらず，ノア王は心を動かされませんでした。しかし，その法廷にいて同じ証を聞いたアルマは改心しました（モーサヤ12：9－17：2参照）。自分がだれに手を差し伸べることになるのか，いつも分かるわけではありません。しかし，御霊によって教え証するならば，その言葉は，教えを受ける準備のできている人々のもとに届くことを約束します。

信仰の大切さを忘れることはできません。御霊によって教えることは，まさに信仰を行使することなのです。教えるすべての概念，証するすべての事柄について，託されている人々の心を動かすには，聖霊に頼る必要があります。信仰によって教え，御霊によって教え，自らの証を大胆に宣言するのです。

福音の原則を応用する

心配なのは，若人が福音について*知っている*ことと，福音の原則を応用するために生活の中で実際に*行っている*ことの間に差があることです。教師であるわたしたちにとって非常に大切なのはこの分野です。

わたしたちは教師として，若人に考えることを求めなければなりません。10歳のころに日曜学校の教師から学んだレッスンを忘れることができません。クリスマスに大きなカードをもらいました。そのカードの中には，小さな冊子が幾つも入っていたのです。冊子にはそれぞれ，ダビデとゴリアテ，世界の創造，ダニエルとライオンの穴など，聖書の物語が書いてありました。すばらしい聖書の物語が何冊にもわたってつづられていたのです。家でその物語を読み，話し合う準備をしてクラスに出席するのです。わたしはそのときの授

「ノア王の前に立つアビナダイ」の一部。アーノルド・フライバーグ画

業の様子を今日に至るまで克明に覚えています。

一つ一つの物語について話し合った後，次のように尋ねられました。「それは皆さんにとってどのような意味があるでしょうか。」「この聖句〔物語，原則〕は，皆さんの生活とどのようなつながりがあるでしょうか。」「この教えを家庭で応用するにはどうすればよいでしょうか。」「皆さんはそれについてどのように思いますか。」後に，我が家で子供たちに同じ質問をしてみると，子供たちは自分の学んだことに従って生活し，それについて考え始めるようになったのです。

わたしたちは考えるように求められました。物語を学んだだけではなかったのです。生活の中で応用する方法を見つけていました。教師はわたしたちに信仰の種を植えて，それが一人一人の心の中で生長するのを助けてくれました。

わたしたちは物語形式で聖文を教えます。そして若人の生活で効果の高い分野に聖文の教えを当てはめる必要があります。若人は，それぞれの生活の中で最も必要とするときに，物語や福音の原則の真理を思い出すことができるようにならなければなりません。

ジョン・グリーンリーフ・ホィッティアーは力強く記しました。「……舌が語り，ペンがつづる悲しい言葉の中で，最も悲しいものはこうだ。『こうであったらよかったのに』。」[1]「こうであったらよかったのに」と考えながら過去を振り返ることほど悲しむべきことはありません。生徒たちに，自分は神の子であると知らないまま人生を送らせてよいでしょうか。また，なぜこの地上にいるのか，自分は何者なのか，どう生きればよいのか，という知識のないまま人生を送らせてもよいでしょうか。もし若人がこの偉大な救いの計画を理解したなら，人生のあらゆる試練に耐え，敵対する者が放つ火の矢をよけて，最後まで堪え忍び，幸福の計画がもたらす最終的な報いを得ることができるのです。

深く考えることの大切さと力について若人に教えてください。深く考え，思い計り，意見を交換する時間を取ってください。実際に応用するために次の質問をしてください。「それは皆さんにとってどのような意味があるでしょうか。」深く考え，祈ってください。御霊によって得た考えや印象，また感じていることを述べるよう指導してください。若人が友達に教え，証するようになるとき，自分たちの信仰を強める出来事が起こります。祈りや聖文研究などの大切さについて自由な話し合いを展開することは非常に大切です。こうして若人は助け合い，支え合うことができるのです。

それは一つの過程です。一緒に過ごす時間を使って若人を成長させてください。兄や姉，友人など，周りの人の過ちから学ぶ能力を身に付けられるようする必要があります。また，聖典から例を引用し，自分自身も同じ過ちを犯すことのないよう教えなければなりません。聖典には，従順でないときに起きるありとあらゆることが記されています。若人は過ちを繰り返して，苦痛に耐える必要はないのです。

偉大な教師は教える内容を知っているだけでなく，生徒が何を必要としているかを理解しています。この二つは同じように大切なことです。生徒の生活で何が起きているかを知ってください。心配事や直面していることを理解する必要があるのです。

若人について理解する

中には，学ぶことに人一倍の労力を要する人もいます。このような場合，生徒と，生徒の学習能力について知っている教師が必要とされます。偉大な教師は教える内容を知っているだけでなく，生徒が何を必要としているかを理解しています。この二つは同じように大切なことです。教師から学ぶ偉大な生徒は，進んで過ちを改め，思いやりのこもった教師の勧告に感謝を表します。偉大な教師である皆さん，若人に自分が何者であるか教え，永遠の救いに到達するために各自の持つ力を十分に発揮させてください。

生徒の生活で何が起きているかを知ってください。心配事や直面していること，なぜそのように行動するのか，なぜそのように言うのか理解する必要があるのです。

若人が選択の自由を行使して，決断する力を身に付けているか見極めてください。将来どのような困難に直面するか伝え，生徒が困難に備えられるようにするのも教える一つの方法です。

わたしたちは時折，試しの時期に遭遇する試練を避けたいと思うのではないでしょうか。

ギリシャ神話屈指の英雄アキレスは，ホメロスの叙事詩『イーリアス』の主人公でした。アキレスに関してホメロスがつづった物語に加えて，アキレスと母のテティスに関する寓話あるいは民間伝承があります。

幾つかの話によれば，テティスはアキレスをステュクス川に沈めて不死不滅にしようとしました。テティスはつか

絵／マイケル・T・マーム

んでいたかかとを除いてアキレスを不死身の体にすることに成功しました。アキレスは成長して，力に富んだ不敗の戦士となり，ギリシャ軍を率いて完全武装をしたトロイ軍に戦いを挑みました。

アキレスの死については，ホメロス作の『オデュッセイア』に記されています。ほかの物語によれば，アポロに導かれてパリスの放った矢がアキレスの唯一の弱点であるかかとを貫いたために殺されたと言われています。

親や福音の教師は皆，敵対する者の放つ火の矢に傷つけられないように，若人を守る秘密を見つけたいと思うのではないでしょうか。残念ながら，この世の石投げ器や矢から子供たちを守ることはできません。試練や学習経験，障害は，人を打ち負かしたり滅ぼしたりするためでなく，強めるためにあるのです。

人生の嵐（あらし）に備えるために，信仰を築き上げる

苦しんでいるときや，試されているときに，聖霊の寛容な説得や慰め，平安と導きを失うような行いと無縁でいられることはどれほど大切でしょうか。こうした聖霊の影響は，人生の嵐に耐え，神の道に近づくために，正しい選択をするうえで助けとなります。

わたしたちの責任は，大切な決断を下す備えをさせて，困難な出来事に直面したときに，若人が知恵を使って選択できるようにすることです。わたしたちは，生徒に選択の自由があること，また「すべての事物には反対のもの」があることを承知しています（2ニーファイ2：11）。ですからわたしたちの目的は，生徒が「神の武具」（エペソ6：11，13。教義と聖約27：15も参照）を身に着けて，「御霊の剣」（エペソ6：17。教義と聖約27：18も参照）と「信仰の盾」（エペソ6：16，教義と聖約27：17）を手にし「敵対する者の火の矢」（1ニーファイ15：24；教義と聖約3：8。エペソ6：16も参照）を防いで，最後まで堪え忍び，父なる神と御子イエス・キリストの前に立って永遠に住むにふさわしい者となるよう助けることです。

これらの教訓を十分に学んで，静かな細い警告の声に耳を傾けた人々については，聖典に数多くの例が記されています。ヨセフはポテパルの妻から逃れました。ヨセフはマリヤとイエスを連れてエジプトへ逃れるようにと告げられました。リーハイとその家族もまた逃れるように告げられました。若人は邪悪な状態にとどまってはならないことを学ばなければなりません。わたしはこれまで，バビロン，すなわち邪悪でこの世的な環境に片足だけなら踏み入れても大丈夫だと考えている若人を限りなく見てきました。

福音の教師としてわたしたちが若人に望むのは，彼らが成功することだけです。そして強く望みすぎるあまり，*無理に*そうしようとすることがあります。子供たちに無理やり信仰を持たせることはできません。信仰は内側から来るものであり，信仰を受けて，生活の中で行使したいという

望みを基としています。御霊を通して揺らぐことのない信仰を築き，行動に表すのです。

わたしたちは自分の願望だけで，だれかを福音に導こうとすることがあまりにも多くあります。これは初期の段階では非常に大切なことかもしれません。しかし，まことの教師は生徒に事実を教えて，生徒が知識を持ったら次の段階へと導き，霊的な証を得て心の底から理解できるよう助けます。それは行動と実行に向かわせるものとなります。

質問と話し合いを通じて，若人の理解度がどの段階に達しているかを評価しなければなりません。一人一人の若人が信仰への道のどこを歩んでいるかを見極めるために全力を尽くす必要があるのです。多くの場合，若人は障害に遭うまで，自分がその旅のどこを歩んでいるかを知らずにいます。そして試しを受けます。だからこそ，このすばらしい聖句が与えられているのです。「さて，わたしモロナイはこれらのことについて少々述べたい。信仰とは待ち望んでいながらまだ見ていないものであることを，世の人々に示したい。あなたがたは，自分が見ていないからということで疑ってはならない。信仰が試されてからでなければ，証は得られないからである。」（エテル12：6）

祈り，聖文を研究し，良い友達を持ち，戒めに従順になることを通して福音を実践する理由は，かりにではなく，実際に試しが来るときに，その準備ができているようにするためです。

ある牧場主が新しい牧童頭を見つけるために何人かの候補者と面接をしていました。その中の一人は，牧童の仕事

ができるかどうか尋ねると，こう言いました。「わたしは嵐が来ても眠っていられますよ。」彼が雇われて間もなく，激しい嵐がやって来ました。強風と打ちつける雨の中，牧場主は小屋へ行くとドアをたたきました。信じられないことに，新しく雇った牧童頭は小屋の中で眠っていたのです。牧場主は怒って牧童頭を責めました。すると牧童頭は言いました。「ここに雇われたときに，嵐が来ても眠っていられると言ったはずですよ。」

牧場を調べると，家畜はすべてつながれており，道具類と干し草の山には防水布がかぶせられ，建物は補強され，すべてが固定され，準備万端整えられていることを知りました。夜を徹して牧場全体を見回った牧場主は，そのとき「嵐が来ても眠っていられますよ」という言葉の意味を理解したのです。

激しい嵐がやって来ました。強風と打ちつける雨の中，牧場主は小屋へ行くとドアをたたきました。信じられないことに，新しく雇った牧童頭は小屋の中で眠っていたのです。牧場主は怒って牧童頭を責めました。すると牧童は「ここに雇われたときに，嵐が来ても眠っていられると言ったはずですよ。」

若人が信仰を築き上げるのを助けるということは，嵐すなわち，やがて訪れる人生の嵐に備えをさせることなのです。若人に正しい選択をするよう備えさせていますが，それは同時に，最後まで堪え忍ぶ備えをさせているのです。

エラ・ウィーラー・ウィルコックスは「運命の風」と題する洞察力豊かな詩を書いています。

一隻の船は東へ，
もう一隻は西へ行く
同じ風を受けて。
進路を決めるのは
風ではない，
帆の向きである。

人の行く手も
海を吹く風に似ている。
人生の航海で
その行く末を決めるのは，
なぎでもなければ，嵐でもない，
心の持ち方である。[2]

わたしたちがこれまでも，またこれからも経験するように，激しい嵐は，若人の生活にやって来ます。嵐に耐えるよう若人に教えることは，わたしたちが教えているところの基本です。すなわち，主イエス・キリストを信じる信仰，祈り，研究，熟考，心の変化，そして悔い改めです。

不従順によって自ら招いた問題のために嵐がやって来た場合，若人に赦しが得られることを教え，理解できるように助けることができます。主はこうおっしゃいました。「見よ，自分の罪を悔い改めた者は赦され，主なるわたしはもうそれを思い起こさない。」（教義と聖約 58：42）

証は遺伝しない

子供たちに，永遠の命に至るまっすぐで狭い道を歩まなければならないことを教えるとき，証は遺伝しないことを理解していなければなりません。つまり，生まれながらにして証を持っているということはないのです。同様に，証は世代か

ら世代へと自動的に受け継がれていくものではありません。イエス・キリストの福音と福音の真理に対する証を注ぎ込んでくれるすばらしい教師の模範がなければならないのです。御霊はその証を若人の心の奥深くに告げてくれます。そうして初めて，心からの理解が得られるのです。

世代を通じて受け継がれていくのは，イスラエルの信仰の遺産であって，これは福音の真理を教えられ，信じ，最終的にそれが確かなものであることを知る機会を与えるものです。

ヒーバー・J・グラント大管長（1856－1945年）は十二使徒定員会会員であったとき，次のように教えました。

「人々がこう言うのを耳にしたことがあります。子供たちは，新しくかつ永遠の聖約のあらゆる約束を生まれながらにして受け継いでおり，自分の行いに関係なく，福音の知識とともに成長する。これは正しい教義ではなく，天の御父の戒めに真っ向から対立するものであると申し上げたいのです。末日聖徒が子供たちに教える責任は，要請ではなく掟として与えられていることに注目してください。

『さらにまた，シオンにおいて，または組織されているそのいずれかのステークにおいて，子供を持つ両親がいて，8歳のときに，悔い改め，生ける神の子キリストを信じる信仰，およびバプテスマと按手，による聖霊の賜物の教義を理解するように彼らを教えなければ，罪はその両親の頭にある。

これが，シオン，または組織されているそのいずれかのステークに住む者への律法である。

その子供たちは，8歳のときに罪の赦しのためのバプテスマを受け，また按手を受けなければならない。

また，彼らはその子供たちに祈ることと，主の前をまっすぐに歩むことも教えなければならない。』〔教義と聖約68：25－28〕」[3]

教師は，両親がこの責任を果たすのを助けます。多くの若人には，福音を教えてくれる親がいません。そのため，若人の多くは教師に頼っています。そのような場合に，教師の役割は重大さを増してきます。教師は模範と福音の知識についての最大のよりどころとなるからです。

福音を研究し，福音に従って生活し，証を得るために青少年とヤングアダルトは導きを必要としています。

福音を学んでいる人は，信仰と証によって周りの人々を引き上げられる立場にあることを，若人に教える必要があります。心の奥底を理解することは，単に自分を救うだけにとどまるものではないのです。

若人の心を主に向ける

教師はそれぞれ，天使の役割を果たしたいという心の望みを持っています。それは良いことですが，大きな誘惑があります。ハーメルンの笛吹きの役を演じて，若人を全員自分の周りに集めるように立ち回り，愛にあふれる行動を生徒に示してそれだけで証を持たせようとするのです。あるいは，若人から慕われる人気教師になることができれば，導き，手本となり，生活を変えられると思い込むのです。

これはある程度，正しいことかもしれません。しかし，生徒が愛と関心を教師に向けることは非常に危険です。それは改宗者が時として，主ではなく宣教師に愛を向ける場合と同じなのです。そして，教師や宣教師がいなくなったり，福音の教えに反する行いをしたりすると，生徒は悲惨な目に遭います。証が揺らぎ，信仰が崩れ去ってしまうのです。ほんとうに偉大な教師は，生徒が主に目を向けるように注意を払います。

いったん若人の生活に影響を及ぼしたら，その後は彼らが祈りと研究，および福音の原則を生活の中で応用することによって，御父と御子，贖い主であり救い主であるイエス・キリストに思いを向けるようにしなければなりません。

福音の知識は，わたしたちと同様ほかの人々にも恵みをもたらします。福音を学んでいる人は，信仰と証によって周りの人々を引き上げられる立場にあることを，若人に教える必要があります。心の奥底を理解することは，単に自分を救うだけにとどまるものではないのです。知識，忠実，霊性，強さを得ることによって，さらに大いなる僕となります。

昇栄という報いは一人で受けるものではありません。永遠の伴侶，家族，親戚，友人と連れ立って行くのです。

わたしたちは最後の神権時代に生きています。時満ちる神権時代です。神権が再び地上から取り去られることはなく，わたしたちはイエス・キリストの再臨に備えます。主がいつ来られるのかはだれも知りません。聖典によれば，救い主の再臨に先立って，サタンが終わりの時にわたしたちを誘惑します。このため，子供たちは神とイエスが常に自分たちを愛し，祈りにこたえてくださることを知る必要があります。この知識こそが，確固とした力を与えてくれ

るのです。

ローマ人への手紙第8章には次のように記されています。「だれが，キリストの愛からわたしたちを離れさせるのか。患難か，苦悩か，迫害か，飢えか，裸か，危難か，剣か。……

わたしは確信する。死も生も，天使も支配者も，現在のものも将来のものも，力あるものも，

高いものも深いものも，その他どんな被造物も，わたしたちの主キリスト・イエスにおける神の愛から，わたしたちを引き離すことはできないのである。」（35，38－39節）

信仰は神の賜物です。信仰を願い求めるならば，それは与えられます。そして周りの人々に，信仰を得て，その信仰を常に保つ方法を教えることができるのです。信仰は，律法と儀式に従って生活することにより与えられます。「神のみこころを行おうと思う者であれば，だれでも，……この教が……わかるであろう。」（ヨハネ7：17）

この偉大な業について教え，証する皆さんに主のえりすぐりの祝福があって，次世代の聖徒と両親となる若人に影響を与えることができますように。生徒が世にあっても世のものとなることのない生活に向けて備えをするときに，皆さんが御霊の導きによって若人の霊的な必要を見極めることができますように。導きを求める彼らの声に耳を傾け，生活の中で行いの良い模範となることができるよう願っています。

教える職において，若人がまことに神の子であることを心に刻みつけることができるよう祈っています。若人を愛し，心にかけ，義をもって導く皆さんのうえに，祝福が注がれますように。生活の中で，また家庭の中で福音に従って生活するならば，神の御霊によって教えることができるでしょう。■

この記事は，教会教育システムの教育者を対象に2002年2月1日，ユタ州バウンティフルで行われた講話を基に書かれました。

注

1. “Maud Muller,” *The Complete Poetical Works of Whittier*（1894年），48
2. ジェームズ・ダルトン・モリソン編，*Masterpieces of Religious Verse*（1948年），314
3. “Duty of Parents to Children,” *Deseret Weekly,* 1894年6月2日付，733

一小節ずつ，こつこつと

マニトバ州のワードに歌声が戻ってきました。伴奏できる人が才能を生かし始めたのです。

シャンナ・ガズナビ

カナダ，マニトバ州ウィニペグにあるロンドンワードの会員たちが，礼拝堂でオルガンに乗せて歌う賛美歌はすばらしいものです。13歳のマービン・カルドーナがオルガン伴奏を務めます。ロンドンワードで音楽が聞こえれば，伴奏者はたいてい，ワードの青少年です。

このワードではほんの数か月前まで，集会中の歌は無伴奏で歌ったり，教会が制作している賛美歌のテープに合わせて歌ったりしていたのです。そのことを思うと不思議な気がします。

今では，皆喜んで賛美歌の伴奏をワードの青少年にお願いしています。17歳のアンドリュー・カルドーナは次のように言っています。「今でこそ皆の歌は伴奏と合っていますが，（テープに合わせて歌っていたころは，）時々ずれていたんですよ。今の方が御霊（みたま）を感じます。」13歳のジャッキー・ファミーニも同感です。「ピアノを弾いてもらった方が，テープに合わせて歌うよりいいです。」

以前集っていたワードが分割してロンドンワードができたとき，集会の伴奏ができるほどオルガンやピアノが上手な人は，ワードに一人もいませんでした。そんなとき，ヒープ長老姉妹が現れたのです。二人は夫婦宣教師でした。自分たちがほかのワードに転任になれば，ピアノを弾ける人がだれもいなくなってしまうことに気づき，ヒープ夫妻は希望者にピアノを教えることにしたのです。

ワードの青少年は，ほぼ全員レッスンを希望しました。15歳のシェリー・カルドーナはこう言っています。「周りの人がレッスンを受けていると聞いて興味を持ちました。わたしもピアノが弾けるようになりたかったので

写真／筆者

マイカ・ユート（右ページ）とロンドンワードの青少年たち（右）は，ほかにできる人がいなかったため，進んでワードのために努力することにした。ピアノやオルガンを習って，日曜日の集会の伴奏者となった。

青少年は，ワードに変化をもたらしているだけではありません。自らの心に変化を感じているのです。奉仕や賛美歌の精神が，青少年の心と生活に影響を与えているのです。右――ジョナサン・ファミーニ。右ページ――シェリー・カルドーナ。

す。そこで，ヒープ姉妹にお願いしたら，いいわよって言ってくださったんです。」シェリーは現在，若い女性の開会行事でほかの女の子たちとローテーションを組んでキーボードを弾いています。

17歳のレーガン・ファミーニは，14歳になる弟のジョナサンと交代で神権会のピアノ伴奏をしています。「ぼくはこの責任が好きです。必要なときはいつでも弾くことができます。宣教師になってからも，伴奏ができるのです。賛美歌には，証(あかし)を強める力があります。」

ワードの青少年たちはヒープ夫妻に感謝しています。いろいろなことを教えてくれたからです。夫妻は優れた音楽教師であっただけでなく，青少年の良い友達でもあったそうです。

君にできるなら

ジョナサンがヒープ夫妻からレッスンを受けることにしたのには，理由がありました。「最初は気が進みませんでした。小さいころからずっとピアノが弾けるようになりたいと思っていました。でも，ピアノは友達のマービンの方がいつも上手だったので，早くからあきらめていたんです。」

マービンとジョナサンは親友ですから，いい意味で競い合えることがたくさんあります。ヒープ夫妻からレッスンを受けることにあまり乗り気でないジョナサンを見て，マービンはある挑戦をしてきました。もっと頑張ってほしかったのです。「ぼくはジョナサンにこう言ったんです。『ぼくに追いつけるかやってごらんよ。ジョナサンがどこまで上手になるか，どれだけ

練習できるか見てみたいなあ。』」

ジョナサンはマービンの挑戦に応じました。「やってみなければ分からないと考えたのです。そして，やってみたらすべてがうまくいきました。練習するのが習慣になり，ピアノの腕はめきめき上達しました。今では楽譜を見ただけでかなり上手に弾けるんですよ。」

マービンの言葉に刺激されてレッスンを始めたジョナサンですが，ほんとうは競争とは関係なくピアノが好きなのだと言います。「賛美歌を弾くと，御霊を感じます。ピアノを習うよう人にも勧めたいです。そうすれば，皆の生活の中に音楽が入ってきますからね。音楽があると，人は幸せになります。そして心に喜びと慰めを感じることができるのです。」

マービンには大きな責任があります。聖餐会でのオルガン伴奏です。マービンはフットペダルを使いながら，オルガンを弾くことができます。それに，鍵盤の横にある小さなつまみの使い方もよく心得ていて，オルガンの音色を巧みに変えることができます。毎週，マービンはワードの音楽ディレクターと一緒に次の日曜日の賛美歌を選びます。「毎日練習しなければなりません。４曲もあるのですから。難しい曲のときには，練習量を増やさなければなりません。」

マービンはピアノを弾くのが好きです。そしてジョナサンと同じように，良い音楽，特に賛美歌は人を幸せにすると言っています。マービンはこう言い添えています。「日曜学校の先生が言うには，ピアノが弾けると長生きするそうです。ピアノを弾いているときは，あまりストレスがたまりませんからね。」

個々の責任を果たす

ロンドンワードの青少年は，ワードに変化をもたらしています。また青少年も，音楽の責任を通して自分たちの生活がもっと豊かになったと感じています。シェリーはこう言っています。「とてもすばらしいことだと思います。青少年がもっとワードの役に立っているのです。そして才能や，学んだことを通してワードの人たちに注目されていますしね。」

青少年は，ピアノの弾き方だけを学んだのではありませんでした。もっと多くのことを習得したのです。「時間の使い方が分かってきました。練習するようになりました。」これは16歳のマイカ・ユートの言葉です。ピアノの練習をしている人たちや教会の音楽基礎コースを履修中の人たちに次のような励ましの言葉を贈っています。「根気ですよ。まず時間を取って練習することです。そうすれば上達します。」ジョナサンは次のように言っています。「少しずつ身に付いていくものなのです。一小節ずつ，こつこつとね。」

どんな技能についても言えることですが，楽器が弾けるようになるのには時間がかかります。努力も必要ですし，意欲的に取り組む必要があります。「一小節ずつ，こつこつと」やっていかなければならないときもあるのです。■

シャンナ・ガズナビはブリガム・ヤング大学第2ステークBYU第61ワードの会員です。

賛美歌を歌う

「霊を鼓舞する音楽は，教会の集会に欠かすことができません。賛美歌は主の御霊を招き，敬虔な雰囲気を醸し出し，教会員を一つにし，主に賛美をささげる機会を与えてくれます。

賛美歌を歌うことが，すばらしい説教となることもあります。賛美歌は，人を悔い改めと善い行いへと駆り立て，証と信仰を強めてくれます。また，疲れた者を元気づけ，悲しむ者を慰め，そして最後まで堪え忍ぶように励ましを与えてくれます。

……音楽的な素養のあるなしにかかわらず，すべての教会員がともに賛美歌を歌われるように願っております。」

大管長会『賛美歌』９

愛をもって

剣（つるぎ）がわたしたち二人の間に投げ込まれました。友人に福音を教えるには愛が必要なことを学んだのはそのときでした。

ステファニア・ポスティグリオーネ

友人のロベルタとわたしは，教会を知るまでは，いつでも何でも一緒にしていました。イタリアに住むわたしたちは地元で宣教師に出会い，数回一緒に話を聞きました。でも，わたしの証（あかし）が日に日に育っていくのとは対照的に，ロベルタは関心を失っていきました。わたしはバプテスマの決意をためらいました。大切な友人が一緒に教会に入らないことを知っていたからです。

ある晩，聖書を拾い読みしていると，ふとマタイによる福音書第10章が目に留まりました。34節から38節の言葉は，心に迫るものがありました。

「地上に平和をもたらすために，わたしがきたと思うな。平和ではなく，つるぎを投げ込むためにきたのである。

わたしがきたのは，人をその父と，娘をその母と……仲たがいさせるためである。

また自分の十字架をとってわたしに従ってこない者はわたしにふさわしくない。」

たとえ友人や家族が理解してくれなくても，義にかなった道を貫くべきだという証を御霊（みたま）から得，わたしはバプテスマを受けました。

ロベルタとの友情は終わったわけではありませんが，以前の親しさは失いました。彼女にとってはわたしの福音に対する熱意を理解できませんでしたし，俗世に執着しなくなったわたしにとっては，彼女が俗世のものを求める気持ちが理解できませんでした。

救い主の話された「剣」が，わたしたちの

間に振り降ろされました。わたしはそのことで苦しみましたが，同時に友人を裁くようになっていました。「一体どうして福音ほど分かりやすくて美しいものを拒んだりするの。これほど明らかな真理を受け入れないなんて，何てかたくななの。」

わたしの態度を感じ取ったロベルタは，だんだん敏感になってきました。当然のことながら，かたくなな人間だとは思われたくなかったのでしょう。わたしが宗教のことを口にすると決まって話題を変えるのです。二人の間で，神は言い争いの種になってしまいました。

2年がたちました。ある日わたしはロベルタに，祝福師の祝福を受けるためにフォッジアという町まで出かけるから一緒に行かないかと尋ねました。特に理由もなく，久しく遠出していなかったからということで，彼女は同意しました。

ロベルタが別の部屋で待っている間，ビンチェンツォ・コンフォルテ兄弟はすばらしい祝福をしてくれました。祝福が終わっても，あまりにも強く御霊を感じていたため，ロベルタのことをすっかり忘れていました。居心地の悪い思いをしながら待っているに違いないのに。でも，コンフォルテ兄弟が気づいてくれました。ロベルタが教会員でないことを知ると，彼女のいすのそばにそっとひざまずきました。彼女のひとみを見詰めながら，優しくそれでいて力強い証をしました。神がほんとうに生きて彼女を愛しておられ，心からの祈りを通して神を知ることができると証しました。

その証はロベルタの心を打ちました。また，福音を分ち合うことに対するわたしの考えを覆しました。心のこもった振る舞いを通して，祝福師は神の真の証人になる方法を教えてくれたのです。

今では，優しく慈愛に満ちた御霊の声をもって神のことを話すなら，愛する人を神のもとへさらに近づける助けができるのだと分かるようになりました。神は愛であり，その愛に触れるとき人は神を選ぶのです。神は人を愛しておられるからこそ，ジョセフ・スミスを召して教会を回復し，完全な愛を学べるようにしてくださったのです。加えて，わたしたちが証をするイエス・キリストは，最も謙遜（けんそん）で柔和な，神の御子なのです。

この経験以来，たくさんの友人が教会に入りました。ロベルタでさえ，福音を学んでみようかと考えています。わたしは決して忘れられないことを学びました。それは，救い主とその福音を証するときは，いつでも愛が必要だということです。■

ステファニア・ポスティグリオーネはイタリア・ナプレス地方部，フレグレオ支部の会員です。

絵／ディリーン・マーシュ

ミューチャルを最大限に活用する

次のミューチャル活動を計画する時期ですか。ミューチャルの目的をよく理解すれば，ミューチャルはたくさんの人にとって大いに役立つものとなるでしょう。以下に楽しい活動のアイデアを紹介します。

将来に備える

✳未来の家族のためと，伝道に備えるために，基本的な料理の技術を学びましょう。ワードまたは支部で料理が上手な人たちに協力してもらうとよいでしょう。出来上がったおいしい料理はすべて味見できますよ。

✳日の光えの結婚についてレッスンをし，日記に未来の夫または妻に向け，手紙を書きましょう。皆さんが未来の伴侶（はんりょ）に望む人物像と同じような人になる努力をしましょう。

奉仕をする

✳家事のリストを作り，そうした家事の手伝いを必要としている人々を探します。助けが必要な家族と，その家族が必要としていることを前もって確認できれば，皆さんの奉仕が役に立っているという確信を持つことができます。

福音の原則を実践する

✳二人一組になって互いの似顔絵を描き，芸術的才能を発揮しましょう。各自の作品を展示した後，自分の顔にキリストの面影（おもかげ）を受ける（アルマ5：14－19参照）にはどうしたらよいかというテーマでレッスンをします。

✳「デザートレッスン」をします。もっと知りたいと思う福音のテーマを選び，グループの一人に準備してもらい，そのテーマに関する見解を発表してもらいます。必ず前もってそのテーマを全員に知らせておき，皆が意見を言えるようにし，デザートを食べながら霊的にも養われるようにしましょう。

一致する

✳皆さんがワードや支部の青少年を幼いときから知っていたとしても，まだまだ知らないことがあります。お互いを知ることができるようなゲームをしましょう。あるいは証会（あかしかい）を開いて好きな賛美歌や聖句を分かち合ったり，なぜそれが特別なのかを話したりするのもよいでしょう。

✳人にはそれぞれの関心事があります。定員会またはクラスのメンバーに，やりたいと思うことに関するクラスやワークショップを開いてもらいます。その関心事と福音を結びつける方法を考えましょう。

「成長するわたし」と「神への務めを果たす」プログラムの実施

✳上記のアイデアの多くは定員会とクラスの「成長するわたし」と「神への務めを果たす」の条件を満たすものです。

御霊（みたま）を感じる

✳祈りの気持ちで準備すれば，上記のアイデアを実行して御霊を招くことができます。聖霊をどのようなときも感じられるようなミューチャルの方法を考えましょう。■

『リアホナ』25ページは，「チャーチ・ニュース」と「フレンド」の後に続きます。

「キリストと若い金持ちの役人」の一部。ハインリッヒ・ホフマン画

個人の啓示を受けるために備える

以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び，読んでください。自分の経験や証を分かち合い，あなたが教える人々にも同様に行うよう勧めてください。

十二使徒定員会会長代理　ボイド・K・パッカー――「啓示が得られるかどうかは皆さんの信仰次第です。……はっきりした知識がなくても信じ続けることによって福音の原則を試すなら，御霊が皆さんに教えてくれるようになります。そして，だんだん知識が皆さんの信仰に取って代わります。……

信じましょう。そうすれば，皆さんの信仰は絶えず培われ，真理の知識は増し，贖い主，復活，そして回復についての証は『生ける水の井戸となり，そこから永遠の命に至る水がわき出る』でしょう〔教義と聖約63：23。ヨハネ4：14；エレミヤ2：13も参照〕。やがて皆さんは，日々の生活で実際に決定する際，導きを受けられるようになるでしょう。」（「個人の啓示――賜，試し，約束」『聖徒の道』1995年1月号，65－66参照）

アルマ17：2－3――「モーサヤのこの息子たちは，……神の言葉を知るために聖文を熱心に調べてきた……。そればかりではない。彼らはしばしば祈り，また断食もしたので，預言の霊と啓示の霊を受けていた。」

十二使徒定員会　ダリン・H・オークス――「聖餐を受けることによってわたしたちが『満たされる』（3ニーファイ20：8。3ニーファイ18：9も参照），すなわち『御霊に満たされ〔る〕』（3ニーファイ20：9）と言われた救い主の約束にふさわしくなろうではありませんか。この御霊すなわち聖霊は，わたしたちの慰め主であり，方向を示し，御心を伝え，解釈を明らかにしてくださる御方であり，証人であり，清めてくださる御方であり，わたしたちが永遠の命に向かってこの世を歩むときに間違いなく導き，聖めてくださる御方です。」（「いつも御子の御霊を受ける」『聖徒の道』1997年1月号，69）

十二使徒定員会　リチャード・G・スコット――「謙遜さ……は，人が成長するための種に芽を出させます。信仰の実践を通して耕され，悔い改めにより刈り込まれ，従順と良い働きによって強くされるとき，その種は霊性という実りをもたらします（アルマ26：22参照）。そして神からの霊感と力が与えられるのです。霊感とは主の御心を知ることであり，力とはその霊感を通して与えられた御心を成就する能力のことです。」（「幸福と昇栄に至る計画」1982年4月号，18参照）

中央初等協会第一副会長　シドニー・S・レイノルズ――「わたしは，生活の中で感じた御霊のささやきや促しを日記につけるように勧めてくれた教師に感謝しています。先生は，感じたことと，その結果を書き留めるようわたしたちに教えました。その結果，小さな事柄がはっきりとしてきたのです。」（「奇跡の神」『リアホナ』2001年7月号，12－13参照）

中央扶助協会第二副会長　アン・C・ピングリー――「人生には，不安定な時期や状況があります。そのようなとき，わたしたちは居心地のよい場所から離れて，主を完全に信頼するよう求められます。恐れを振り払い，イエス・キリストへの信仰を行使するとき，御霊は信頼できる伴侶，教師，そして導く力となります。わたしたちはニーファイ第二書第32章5節の約束を信じています。『聖霊は，あなたがたがなすべきことをすべてあなたがたに示されるであろう。』聖霊は，わたしたちが知るべきことも教えてくださいます。」

- *個人の啓示を受ける能力を伸ばすには，どうしたらよいでしょうか。*
- *神からの導き受けるうえで，恐れはどのように妨げとなるでしょうか。* ■

絵／シェリー・リン・ボイヤー・ドッティー

もう少し背が高かったら

チャド・モリス

人生は公平に
できてはいませんが，全力を
尽くさなければなりません。
不公平に見える部分は
主が埋め合わせを
してくださいます。

年上なのをいいことに兄が夜更かしをしたり，兄のアイスクリームが自分のよりも多かったりすると，よくこう言ったものです。「それって不公平だよ。」そんなとき，また人生のいろいろな場面で，返ってくる答えはいつも決まっていました。「人生なんてそんなものさ。」

中学生時代，わたしは人生なんて公平じゃないと思っていました。背が低かったのです。それも平均より少し下などという生はんかなものではなく，だれの目にも明らかな背丈の問題を抱えていました。ある日，同学年の生徒全員で身長の高い順に並んで写真を撮ったことがあります。わたしは列のいちばん後ろ。つまり，わたしより背の低い人はいなかったのです。

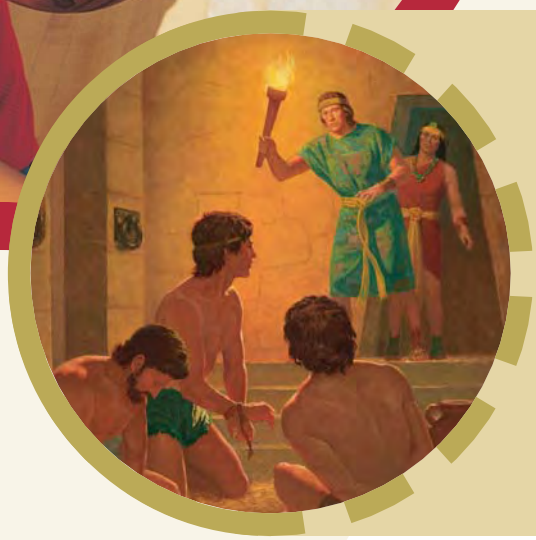
背が低かったにもかかわらずバスケットボールが大好きだったわたしは，学校のバスケットボールチームのレギュラーメンバーになる資格を得ようと心に決めました。体育館いっぱいに集まった男の子がチームのポジション獲得を目指して自己アピールをし始めました。わたしは何時間にも及ぶ練習が報われるようにと願いました。コーチの人たちが体育館の真ん中に立ってわたしたちを観察し，クリップボードに挟んだ紙にメモを取っていました。こんな背丈の自分でも彼らの目に留まってくれるようにとただただ祈るだけでした。

ウォーミングアップが終わって，ヘッドコーチが笛を鳴らし，1回目のシュート練習をどのような手順で行うか説明しました。ヘッドコーチはわたしにボールを渡しました。このわたしがセンターラインからドリブルし，スリーポイントラインを超えたところで止まって

写真／ション・ルーク、写真はイメージです。

「この世での『なぜ』という疑問のあるものは，ほんとうの問いかけではなく，憤りの表れです。また，試練がもっと後ではなくて『なぜ』今なのかという場合もあります。主への信仰が，主の時に対する信仰を締め出したかのようです。ストレスの最中の『なぜわたしが』という疑問の中には，『今わたしには何が必要だろうか』というような『何が』という質問にすれば，はるかによくなるものがあります。すなわち，モロナイの言葉を言い換えれば，こうなります。『もしわたしが十分にへりくだるなら，どの弱さが強さに変わるだろうか。』（エテル12：27参照）」

十二使徒定員会
ニール・A・マックスウェル
「キリストの贖いの血の効力を及ぼす」
『聖徒の道』1998年1月号，26



ジャンプシュートをする一番手に選ばれたのです。周囲の目がすべてわたしに注がれているのが分かりました。ドリブルをする度に手が震え，その度に周囲の目が気になりました。フリースローサークルに入ったところでジャンプして，ボールを放ちました。少なくともゴールリングには当たってほしいと思いました。ボールはリングの周りをぐるりと回って，ネットをくぐり抜けて落ちました。

思っていたよりも早くわたしの番が再び回ってきました。今度もまたボールはリングを通り抜けて落ちました。次の回が終わるまで幸運は続きました。実は，昨年このチームのセンターだった選手がわたしに気づき，敗北が目に見えているわたしを助けてくれたのです。彼は毎回シュートの直前に声援を送って，わたしを引き立たせようとしてくれたのです。彼のおかげで，わたしのシュートは成功し続けました。

その日の終わりに，最初の選出で残った人の名簿が張り出されました。わたしの名前もそこにありました。目指すエベレスト山に初めの一歩を踏み出した登山者の気持ちでした。

神経の擦り切れるような早朝練習がさらに何日か続いた後，2回目の選出で残った人たちの名簿が張り出されました。今度のハードルも越えることができました。最後の選出まで，あと1，2回を残すのみとなり，チームの一員となる可能性は高くなってきました。しかし，残った競争相手は優秀な選手ばかりでした。

その週の終わりに，適性テストは終わりました。チームの一員に選ばれたかどうかを知ろうと，できるかぎり平静を装ってコーチの部屋に入って行

左――写真／ジョン・ルーク，写真はイメージです。絵／ゲーリー・L・カップ　右ページ――「最も偉大なる者」デル・パーソン画

きました。わたしの名前はリストから外されていました。

わたしの理科の教師でもあったアシスタントコーチがこっそり次のように話してくれました。「君は小さいけれどいいプレーヤーだ。大いに可能性がある。」そんな褒め言葉で，落ち込んだわたしの心を慰めることはできませんでした。「人をチームから外すのはつらいことだ。しかし，現時点でチームの一員としてプレーするには背が足りないだけなのだから，来年の可能性にかけてみることだね。」

「どうしてわたしがこのような目に」と思いました。わたしの夢は崩れ去りました。トライしなかったとか練習しなかったとかいうのではなく，自分にはどうしようもないことが原因でチームから外されたのです。人生とはほんとうに不公平なものだと思いました。

どうしてわたしがこのような目に

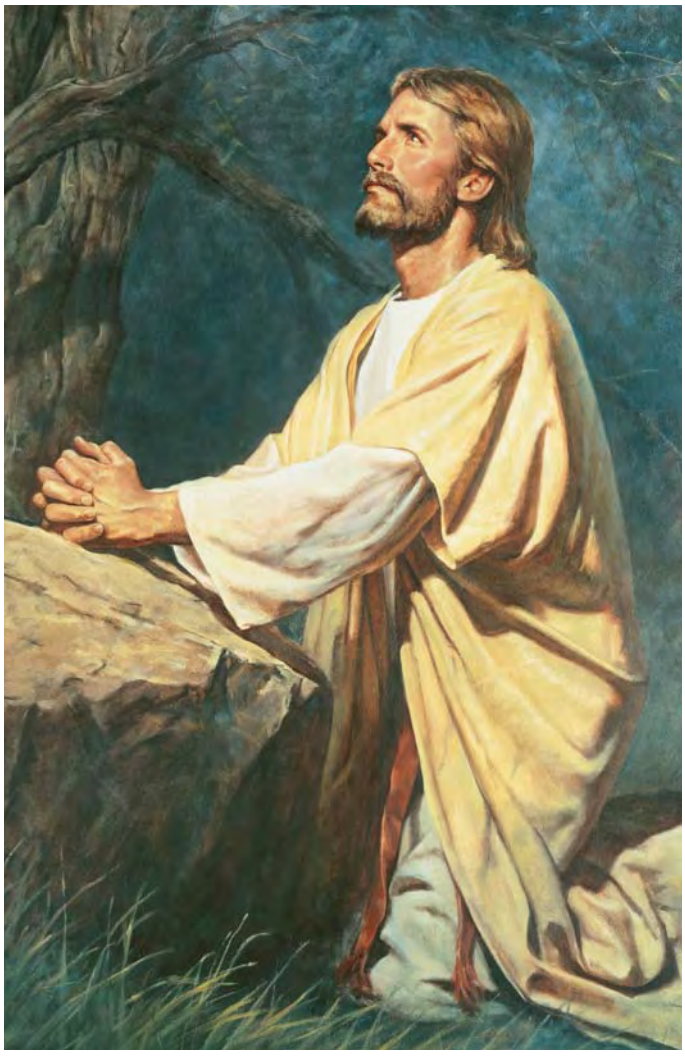
モルモン書は何度も読みましたが，あのアロンも自分の兄弟であるアンモンの成功を不公平と見なすこともできたはずだということに気づいたのはつい最近のことです。アロンをはじめ何人かのニーファイ人はレーマン人に福音を伝えに行きました。アンモンは王の羊の群れを守り，御霊に満たされ，ラモーナイ王とその民を改宗に導きましたが，アロンは苦難に遭いました。レーマン人は「彼らを追い出し，打ちたたき，家から家へ，こちらからあちらへと彼らを追い払い，とうとう彼らはミドーナイの地へやって来た。そこで彼らは捕らえられ，牢に入れられて丈夫な縄で縛られ，幾日もの間牢に閉じ込められてい〔た。〕」（アルマ20：30）

アンモンの人生に比べ，アロンの人生は不公平に見えます。しかし，牢獄から解放されたアロンは自分の境遇に恨みを抱くことなくレーマン人に福音を宣べ伝えました。

アロンには「どうしてわたしがこのような目に」と問う理由が幾らでもあったはずです。アンモンは偉大な成功を収めました。それとは対照的に，アロンの経験は失敗と投獄のみでした。アロンは牢獄から解放されましたが，その結果，アンモンの成功談を一つ増やすことになりました。アロンも公平とは言えない人生を送ったのです。

しかし，たとえ不公平であっても，アロンは恨みを抱くような様子を見せませんでした。牢獄から出るやいなや，アロンは主が自分に何をするよう望んでおられるか祈り求める気持ちで伝道活動を再開しました。すると主は彼を祝福されました。アロンは全レーマン人の王ラモーナイの父とその家族を教え，バプテスマへと導いたのです。

自分の置かれていた状況は，アロンの状況に似ているということに少し気がつきました。周囲の人々は大きな成功を収めているのに，自分はどうしようもないことが原因で失敗していたからです。自己憐憫に陥って，「どうしてわたしがこのような目に」と嘆くこともできました。また，アロンのように忍耐して，主を信頼することもできました。



わたしが気づいたのは，人生には公平とは言えないこともあるけれども，煩い事は主にゆだねればいいのだということです。十二使徒定員会会員のリチャード・G・スコット長老は次のように述べています。「贖罪は，自分の犯した背きや過ちを克服できるように助けるだけでなく，人生のあらゆる不公平，すなわち，自分の決断の結果でなく，環境やほかの人の行為の結果として生じた不当な事柄をすべて，主の時において，解消するでしょう。」（「贖い主イエス・キリスト」『聖徒の道』1997年7月号，66）主に頼ったからといって，わたしの人生が突然公平になるということはありません。しかし，不公平な状況に置かれても，主に似た者になろうと努力するときに，主は苦々しい思いを抱かないように，また不公平であってもこの世を愛することができるように助けてくださいます。■

チャド・モリスはユタ州ウェストジョーダン東ステーク，ウェストジョーダン第44ワードの会員です。

パブロおじいさんを探して

ラケル・ペドラサ・デ・ブロシオ

我が家の家族歴史探求は，いつも同じ名前で行き詰まりました。しかし，父がその名前を予期しない所で見かけたとき，パブロおじいさんの一大捜索が始まったのです。

強い日差しが照りつけ，綿などの農業が盛んなアルゼンチン東北部のチャコ地区に，父は生まれました。何世代にもわたって隣近所が互いを知っていて，伝統が厳格に守られている土地です。父の家族はその一角ビラアンジェラの町で快適な中流家庭生活を送っていました。

ところが，父が9歳のとき両親が離別し，父は母親や姉妹たちとともにブエノスアイレスへ引っ越しました。なぜ故郷や友達と別れなければならないのか理解できず，いつ自分の父親と再び会えるのかも分からなかった少年にとって，それは大変な境遇の変化でした。父親との別れが数か月，そして数年に及ぶと，父の中で父親の記憶が薄らいでいきました。父親の写真さえ持っていませんでした。

わたしたち家族は回復された福音を知り，その後教会に加わりました。そしてわたしは15歳のときに，家族歴史活動にとても興味を持つようになりました。先祖を見つけ出すことに夢中で，母方の親族についてはよく調べ上げることができたのですが，父方は，すべての作業がある名前で止まってしまいました。ある名前とは，パブロ・ペドラサおじいさんです。

父の生い立ちについて父の口から聞いたわたしは，パブロおじいさんのことをもっと調べたいと強く思うようになりました。そして，家族歴史を完成するためにもパブロおじいさんについてもっと知ることができるようにと，家族で祈ったのです。父は懸命に記憶をたどり，老齢のおばの住所を何とか思い出しました。父はそのおばに手紙を書きましたが，おばはすでに亡くなっていて，必要な情報を得ることはできませんでした。それでも，わたしたちはあきらめずに祈り続けました。

ある日，父の乗った通勤バスが，信号で郵便トラックの横に停止しました。トラックの中には大きな小包が積まれています。そのうちの一つが父の目に留まりました。送り先がパブロ・ペドラサとなっており，父の故郷の町を示す住所が書かれていたのです。

父はわくわくしながら住所を書き留めました。父親が自動車整備士だったことを知っていたので，トラックの大きな小包が父親あてのものでもおかしくないと思ったのです。それから数年間，わたしたちは父がメモしたこの住所に手紙を送り，会って話をしたいという気持ちをつづりました。しかし，いつまでたっても返事は来ませんでした。

そんなある日，この話を父から聞いたワードの友人がこう提案しました。「それなら，そこへ行って，探してみたらどうだい。」心が不安でいっぱいになりました。パブロおじいさんはわたしたちに会いたくないかもしれませんし，住所が間違っているかもしれません。

しかし，このことについて祈ってみたところ，チャコへ行って，パブロおじいさんを探すべきだと感じました。家族全員でワゴン車に乗り込み，28時間走りました。小包に

絵／ジョセフ・アルマン

あった住所の場所へまっすぐ行くと，きれいな，よく手入れの行き届いた家の前に着きました。60歳くらいの男性が洗車をしています。父は勇気を振り絞って車を降り，名を名乗って住所を確認しました。

わたしたち家族は期待を胸に，車の窓から眺めていました。数分後，父と男性はしっかり抱き合っていました。二人はわたしたちに車から降りて来るよう合図をしました。その男性はほんとうに，父が40年間会えなかった実父，パブロおじいさんだったのです。

再会は初めぎこちないものでしたが，愛の精神がありました。町の郵便事情が悪く，わたしたちが送った手紙は1通もパブロおじいさんのもとに届いていなかったことが分かりました。また，おじいさん自身も何年も父を探そうとしたのですが，対面に不安を感じていたというのです。奥さんや子供たちにも会い，生活の喜びや悲しみについて聞きました。パブロおじいさんは善良な，神を信仰する男性でした。愛あふれる夫，父親，そして良い隣人でした。パブロおじいさんはわたしたちに会えて，やっとの思いでおじいさんを捜し出したわたしたちと同じくらい喜んでいました。

こうしてわたしたちは，パブロおじいさんの写真や，おじいさんとおじいさんの一部の先祖に関する大切な情報を手に入れました。おじいさんは1年前に亡くなり，わたしたちはおじいさんや親族の儀式を行うために神殿に行く準備をしています。父はようやく両親に結び固められることへの喜びを隠し切れない様子です。家族の系図を完成させる作業はこれからも続きます。

わたしたちには次の約束が与えられています。「彼は父の心をその子供たちに向けさせ，子供たちの心をその父に向けさせる。」（マラキ4：6）この約束が文字どおり成就するように主が手を取って導いてくださったことで，わたしたち家族はとても祝福されました。■

ラケル・ペドラサ・デ・ブロシオはアルゼンチン・ブエノスアイレス・ベルグラノステーク，チャカリタワードの会員です。

イエスのたとえ

働き人

主はわたしたち一人一人に，何のために主の王国で奉仕するのかを吟味するよう求めておられます。

多くの人が，時給制の仕事に就いています。ですから，より長い時間熱心に働いた人は，だれでもより多くの収入を得ることを期待するでしょう。しかし，天国の計画は異なっています。

地域幹部七十人
ヘンリー・F・アセベド

わたしが教会に入った1975年当時，祖国フィリピンでは末日聖徒の数はごくわずかでした。しかし，それ以後教会は劇的に発展し，今では約50万人の会員がいます。わたしは改宗以来，数々の責任を通して主のぶどう園で働く機会を与えられてきたことを誇りに思い，喜びを感じています。しかし，長年にわたる奉仕について考えるとき，次のような疑問が生じてこないでしょうか。「篤い信仰を持っていても，改宗後あまり日を経ずしてこの世を去る人々と比べ，わたしは天においてより大いなる報いを受けるのだろうか。」救い主はほかの質問と同様に，たとえを用いてこの疑問に対する答えを示しておられます。

「ついては，何がいただけるでしょうか」

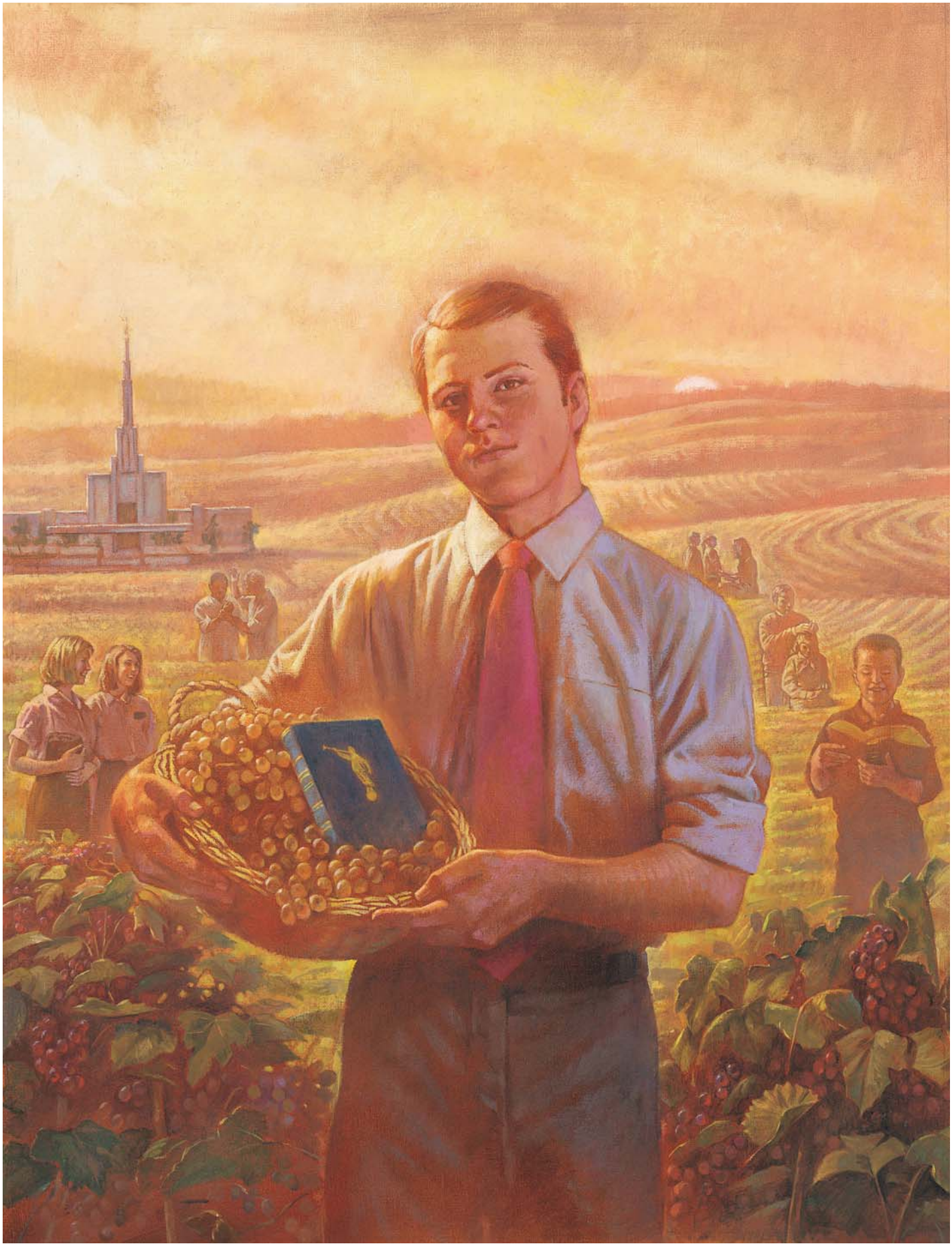
ある日，救い主が弟子たちとともにおられたとき，一人の裕福な若い男がイエスのもとに来て尋ねました。「先生，永遠の生命を得るためには，どんなよいことをしたらいいでしょうか。」（マタイ19：16）その問いかけにイエスはこうお答えになりました。「もしあなたが完全になりたいと思うなら，帰ってあなたの持ち物を売り払い，貧しい人々に施しなさい。……そして，わたしに従ってきなさい。」（マタイ19：21）弟子たちはイエスの言葉に驚き，「では，だれが救われることができるのだろう」と思い巡らせました。（マタイ19：25）イエスは弟子たちの思いを見抜き，神のためにすべてを捨てる者は，永遠の命を受けると言われました（ジョセフ・スミス訳マタイ19：26〔英文〕参照）。

するとペテロがほかの弟子たちに代わって尋ねました。「ごらんなさい，わたしたちはいっさいを捨てて，あなたに従いました。ついては，何がいただけるでしょうか。」（マタイ19：27）

イエスの答えは，栄光ある約束であると同時に，弟子たちを厳しく戒めるものでした。まずイエスは，復活の後に使徒たちが12の位に座してイスラエルの部族を裁くことを約束されました。そして次のように警告し，働き人についてのたとえを用いられました。「しかし，多くの先の者はあとになり，あとの者は先になるであろう。」（マタイ19：30）

すべての働き人に1デナリを

イエスは天国を，働き人を雇うために朝早く出かけて行く主人にたとえられました。イエスの時代には，仕事のない者が，雇い主を探して集まる場所がありました。主人は通常の賃金である1日1デナリを支払うと約束し，働き人を自分のぶどう園に送り込みました。それから9時ごろに再び出かけて行き，仕事を求める人々が市場で何もせずに立っているのを見ました。主人はその人々も雇いましたが，賃金については具体的な額を示さず，た



上――「イエスと使節たち」の1部。ジマーマン画 © QUEBECOR PRINTING; 右――絵／ロバート・T・バレット

「最後の審判」の一部。ジョン・スコット画

日の栄えの王国にふさわしいと認められた人への天の御父の約束は，いつぶどう園に召されたかにかかわらず，すべての働き人が「力において，威勢において，支配において，……等しい者とされる」というものです（教義と聖約76：95）。

だ「相当な賃銀を払うから」とだけ約束しました（マタイ20：4）。すると彼らは喜んで主人の申し出に従い，先ほどの働き人と並んで主人のぶどう園で働きました。主人はまた，12時ごろと3時ごろとに，さらに多くの働き人を雇いました。最後に，5時ごろまた市場に出向いて，新しく働き人を雇い入れ，前回と同様に，相当な賃金を払うことを約束しました。

夜になり，主人はすべての働き人を呼び集め，始めにわずか1時間しか働いていない者に賃金を支払いました。1時間しか働いていない働き人が1日分に相当する賃金を受け取るのを見て，ほかの働き人は皆驚きました。次に主人は，途中から働いた人にも，ぶどう園での労働時間にかかわらずそれぞれ1日分の賃金を支払いました。

途中から働いた人が受け取った賃金を見て，最も長く働いた者たちがどう思ったかは容易に想像できます。彼らは早合点して，最初に約束した賃金ばかりか，さらに多くの報酬を得るのだろうと思ったことでしょう。結局，だれよりも多く働いたのは自分たちだからです。けれども，主人が約束の1デナリしか支払わなかったので，彼らは不平を漏らしました。「この最後の者たちは1時間しか働かなかったのに，あなたは一日じゅう，労苦と暑さを辛抱したわたしたちと同じ扱いをなさいました。」（マタイ20：12）

主人は答えて言いました。「友よ，わたしはあなたに対して不正をしてはいない。」（マタイ20：13）そして，約束どおりの賃金を支払っていることを指摘しました。不平を漏らす働き人に対して，主人は洞察に富んだ二つの質問を投げかけました。「自分の物を自分がしたいようにするのは，当りまえではないか。それともわたしが気前よくしているので，ねたましく思うのか。」（マタイ20：15）

確かに，主人はぶどう園で働くすべての人を，慈悲深く公平な態度で扱ったのです。そしてイエスは結論を述べられました。「このように，あとの者は先になり，先の者はあとになるであろう。」「まことに，召される者は多いが，選ばれる者は少ない。」（マタイ20：16。教義と聖約121：34－40参照）

高慢に気をつけなさい

多くの人が，時給制の仕事に就いています。ですから，より長い時間熱心に働いた人は，だれでもより多くの収入を得ることを期待するでしょう。しかし，天国の計画は異なっています。わたしたちはバプテスマを受け，神権を授与され，聖なる神殿での儀式を受けると，神への忠誠を誓い，召しを尊んで大いなるものとすることを聖約します。そして主は，わたしたちが忠実であるかぎり，「わたしの父が持っておられるすべて」を受ける（教義と聖約84：38），すなわち神の日の栄えの王国で昇栄することを約

束してくださいます（教義と聖約84：33－41参照）。主が下さるものの中で，これ以上に価値のある賃金も報酬も存在しません。これは主のあらゆる賜物（たまもの）の中で，最も大いなるものなのです（教義と聖約14：7参照）。

「ついては，何がいただけるでしょうか」と尋ねたあの使徒と同じ思いが，わたしたちの心の中にも存在しないでしょうか。最初に召されたから，あるいはより長く働いたからという理由で，より大いなる報いを受けるべきだとの思いがないでしょうか。先に雇われたからといってより多くの賃金を要求するような考え方は，福音に反するものです。労働に従事しているときには，主が支払ってくださる報酬の価値を完全に理解することはできないかもしれません。しかし，わたしたちは主から「相当な賃銀」を受けると信じることができます。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899－1994年）は，高慢に心するよう警告しました。なぜなら，「高慢の中心には，競争を好む性質があります。……高慢な人の中には，自分の収入が生活の必要を満たしているかどうかよりも，ほかの人よりも多いかどうかということに気を取られている人がいます。このような人が望む報酬は，人より上に立つことです。これが高慢のもたらす憎悪なのです。」[1]

つぶやきに気をつけなさい

大学での予備役将校の軍事訓練で，司令官から「不平を鳴らす前にまず命令に従え」とよく言われました。改宗して教会に入ったとき，教会でもこの言葉を守ろうと自分自身に言い聞かせました。従順について意見を求められるといつも，この信条がこれまでの人生でどれほど大きな祝福をもたらしてきたかを話します。

主に召されるとき，賃金について心を悩ませるべきではありません。ただ行って最善を尽くさなければなりません。だれの功績になろうと，問題ではありません。主のぶどう園で働く機会を得たことに感謝すべきなのです。

皆さんが家の主人，すなわち救い主イエス・キリストに対して，また大管長から地域の指導者に至るまで，主の僕（しもべ）に対して，決して不平を漏らすことのないよう願っています。主の教えを心に留めようではありませんか。「わたし自身の声によろうと，わたしの僕たちの声によろうと，それは同じである。」（教義と聖約1：38）

報いは同じである

力を合わせて末日の大いなる刈り入れを成し遂げるなら，古くからの教会員も新会員も，ともに豊かな祝福を受けるでしょう。わたしたちは皆，心と，勢力と，思いと，力を尽くして自分の割り当てを果たす必要があります。周りの人の報酬や功績のことで嫉妬（しっと）してはいけません。神の栄光にひたすら目を向けながら働くとき，自らの労働の報いと栄光を主の裁きにゆだねるようになるのです。

25年以上にわたって奉仕に携わってきたわたしは，改宗したばかりで亡くなる人，すなわち篤い信仰を持ちながらもわずかな期間しか奉仕できずにこの世を去る人と比べて，天においてより大いなる報いを受けるのでしょうか。主はそうではないと答えられました。日の栄えの王国にふさわしいと認められた人への天の御父の約束は，いつぶどう園に召されたかにかかわらず，すべての働き人が「力において，威勢において，支配において，……等しい者とされる」というものです（教義と聖約76：95）。寛大な支払い主である主は，確かに「相当な賃銀」を払ってくださるのです。■

注

1.「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年5月号，4－6参照

ヘンリー・F・アセベド長老は，フィリピン地域で地域幹部七十人を務めています。

話し合いましょう

1．主のために奉仕することで受ける報いを家族と一緒に書き出してみましょう。「すべての働き人に1デナリを」の項を読み，一日中働いた人がなぜ不満を感じたのかを考えましょう。主が寛大な支払い主であられることについて証を述べましょう。

2．家の中の雑用のように，簡単でも人の役に立つ作業を行うよう家族のだれかに依頼してください。もう一人には，もっと大変な作業をするよう頼みます。そして二人の労働に対して同額の賃金を支払うと伝えます。なぜこれが不公平に感じられるのかを話し合い，本文の最後の3つの項目を読みましょう。アセベド長老はどのようにすれば高慢とつぶやきを避けられると述べているでしょうか。

初期の使徒たちの言葉

教会を築き上げる

「わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑であり，神の建物である。」（1コリント3:9）

この教会は神によって導かれており，召す人について指導者は霊感を受けています。わたしはこのことを，数多くの経験を通して確信するようになりました。

七十人
リチャード・J・メインズ

ペテロとパウロは，使徒の務めに携わっていた間，常に福音を宣べ伝え，支部を組織し，教会で指導的立場にあった聖徒たちに指示を与えました。二人の言葉と行いは，主の教会を確立するために必要な3つの基本原則を明らかにしています。

1．教会の組織と構造は，権能を持った代表者により，神の計画に従って確立されなければならない。

2．真の教義と原則は，神が預言者を通して明らかにされる。

3．すべての会員には，教会を築き上げるために力を尽くす責任がある。

これら3つの原則は，今日も当てはまります。

1．教会の組織と構造は，権能を持った代表者により，神の計画に従って確立されなければならない。

主は，神権の鍵を正しく行使し，啓示に従って教会を組織する方法を定められました。それ以外の方法を認めておられません。

パウロは神権の権能を授けることに関して，次のように言っています。「だれもこの栄誉ある務を自分で得るのではなく，アロンの場合のように，神の召しによって受けるのである。」（ヘブル5：4）神権の力は，霊的にふさわしい人に授けられる神からの賜物です。欲しいから下さいと頼んで与えられるものではありません。そのことは，ペテロと魔術師シモンの出会いを記した聖句からも明らかです。

「シモンは，使徒たちが手をおいたために，御霊が人々に授けられたのを見て，金をさし出し，

『わたしが手をおけばだれにでも聖霊が授けられるように，その力をわたしにも下さい』と言った。」（使徒8：18－19）

ペテロはシモンをしかって言いました。

「おまえの金は，おまえもろとも，うせてしまえ。神の賜物が，金で得られるなどと思っているのか。

おまえの心が神の前に正しくないから，おまえは，とうてい，この事にあずかることができない。」（使徒8：20－21）

神権の力は，買うことも，また，利己的な目的で手に入れることもできません。権能を

主は，神権の鍵を正しく行使し，啓示に従って教会を組織する方法を定められました。

持った人により授けられるのです。同じように，教会におけるそれぞれの召しも，権能を持つ人が聖なる御霊の導きを受けながら，権能の鍵を行使して授けます。この基本原則が正しく実行されなければ，責任に就いている人の個人的な考えや，地域の習慣によって，世界の教会は場所により異なって確立されてしまうかもしれません。

パウロはテモテに次のように教えました。「軽々しく人に手をおいてはならない。」（1テモテ5：22）このときパウロは，召しを与える前に，祈り，よく考え，霊感を受けることが必要であると理解していたのです。

この教会は神によって導かれており，召す人について指導者は霊感を受けています。わたしはこのことを，数多くの経験を通して確信するようになりました。1997年，中央幹部に召されたばかりのときにもそのような経験をしました。中央幹部として最初の責任の一つが，十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老を補佐して，あるステークを再編することでした。待ち遠しくもありましたが，不安も少しありました。それまであまり経験したことのない責任だったからです。

組織の再編成に当たり，ステーク内の多くの神権者を面接した結果，数人の兄弟がステーク会長としての責任を立派に果たす十分な能力を備えていることが分かりました。そして，次の段階が，「この人たちの中で，だれを主は召したいと望んでおられるのか」ということです。

ヘイルズ長老とよく話し合い，深く考えた後で，ある一人の兄弟を選ぶようにという促しを感じました。ヘイルズ長老はわたしに祈るように求めました。そのときに起こったことは，生涯で最も霊的な経験の一つです。わたしは，祈りの中で，御霊の確認を求めました。その神権者の名前を口にした途端，「この兄弟こそ主がお選びになった人である」と，聖霊が力強く証してくださったのです。わたしは，その力強さに圧倒され，祈りを終えるのもやっとという状

右――写真／ジェド・A・クラーク。「十二使徒を聖任するキリスト」ハリー・アンダーソン画
左――「テサロニケの民を教える聖パウロ」の一部、ギュスターブ・ドレ画

態でした。ヘイルズ長老とわたしは，その兄弟が主の選ばれた人であることを，啓示によって知ったのです。この教会はまさに，神の霊感によって導かれています。そのような教会の会員であることは何と大きな祝福でしょうか。

2．真の教義と原則は，神が預言者を通して明らかにされる。

パウロはイエス・キリストの教会の土台についてこう説明しています。「そこであなたがたは，もはや異国人でも宿り人でもなく，聖徒たちと同じ国籍の者であり，神の家族なのである。

またあなたがたは，使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって，キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。」（エペソ2：19－20）

ペテロは，聖徒たちに「聖なる預言者たちがあらかじめ語った言葉……を，思い出」すように勧告するとともに，終わりの時には多くの人が預言者の言葉から離れると警告してこう言いました。「終りの時にあざける者たちが，あざけりながら出てきて，自分の欲情のままに生活〔するであろう。〕」（2ペテロ3：2－3）

これまでの神権時代の預言者と同じく，ゴードン・B・ヒンクレー大管長は主の御心と計画をわたしたちに伝えています。

預言者たちが主の御心と計画を明らかにする目的は，わたしたちが「様々な教の風に吹きまわさ」れないようにするためです（エペソ4：14）。自分自身をふさわしく保ち，明らかにされたこの教義の純粋な形を守るならば，すばらしい祝福がもたらされるとパウロは教えました。「自分のことと教のこととに気をつけ，それらを常に努めなさい。そうすれば，あなたは，自分自身とあなたの教を聞く者たちとを，救うことになる。」（1テモテ4：16）

1998年4月の総大会，日曜午後の部会で，ゴードン・B・ヒンクレー大管長は閉会に当たり，新たに32の神殿を建設すると発表しました。その言葉が大管長の口から発せられた瞬間，聖霊がわたしに，ゴードン・B・ヒンクレーが生ける預言者であり，神殿の建設は主の御心であると証してくださいました。さらに，1999年4月の総大会でヒンクレー大管長がイリノイ州ノーブー神殿の建設計画を発表したときにも，聖霊から同様の確認を受けました。

主はこれまでいつも御自身の御心と，神権の力と権能を，御自分の僕である預言者を通して示してこられました（アモス3：7参照）。過去，現在，そして，未来に至るまで，主が王国をお治めになる方法は同じです。

3．すべての会員には，教会を築き上げるために力を尽くす責任がある。

コリント人への第一の手紙第12章で使徒パウロは，教会を正しく確立していくには会員一人一人の力が必要であると力説しています。

「からだが一つであっても肢体は多くあり，また，からだのすべての肢体が多くあっても，からだは一つであるように，キリストの場合も同様である。……

実際，からだは一つの肢体だけではなく，多くのものからできている。

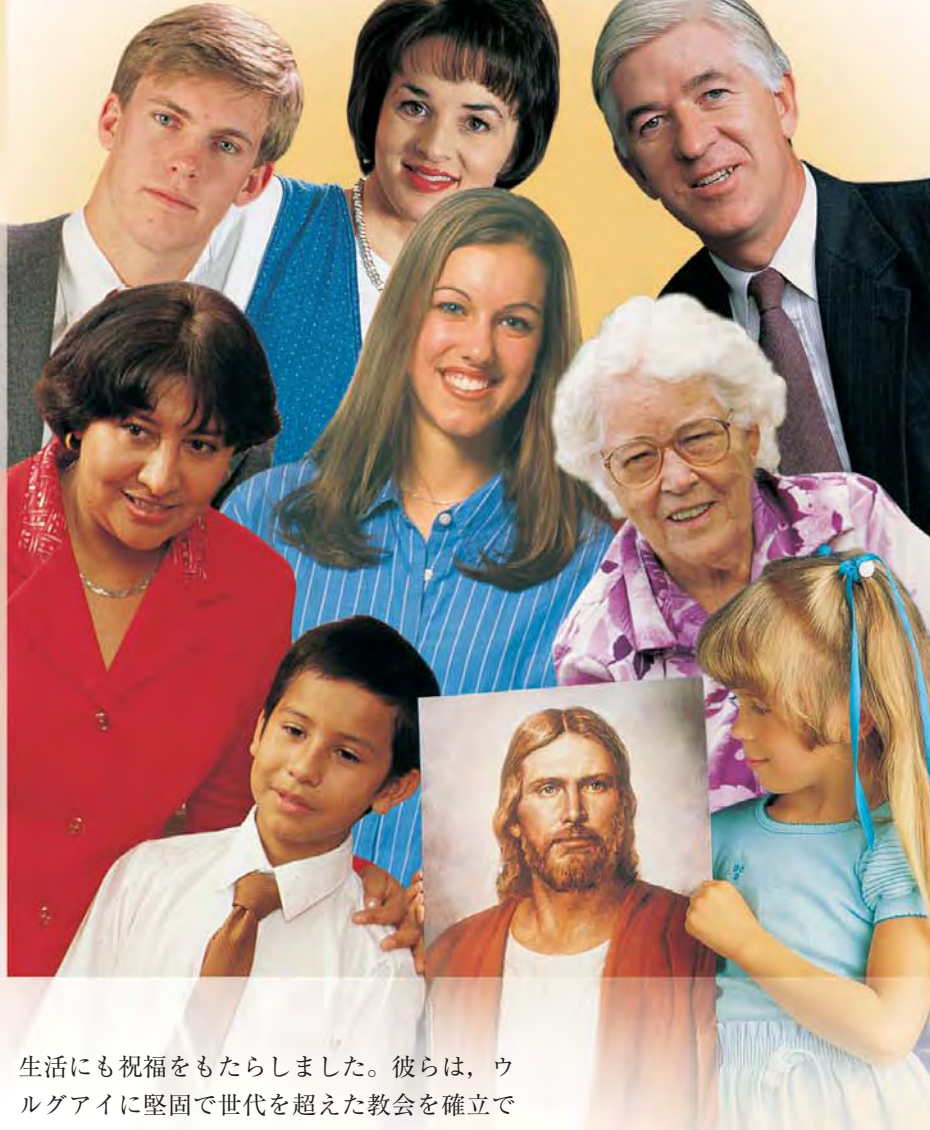
目は手にむかって，『おまえはいらない』とは言えず，また頭は足にむかって，『おまえはいらない』とも言えない。

あなたがたはキリストのからだであり，ひとりびとりはその肢体である。

そして，神は教会の中で，人々を立てて，第1に使徒，第2に預言者，第3に教師とし，次に力あるわざを行う者，次にいやしの賜物を持つ者，また補助者，管理者，種々の異言を語る者をおかれた。」（12，14，21，27，28節）

教会員一人一人には特別な賜物，つまり，才能が祝福として与えられています。もし，会員たちが同じ才能を持った人ばかりだったら，ワード，支部の人事に当たる監督や支部長がどんなに大変な思いをするか想像してみてください。青少年を担当するすばらしい指導者が持っている才能は，聖歌隊の指導者の才能とは異なるかもしれませんが，ワードや支部の福利全般にとっては，どちらも大切です。肉体の各部分が体全体の健康や強靭さに必要であるのと同様，会員一人一人が，健全で力強いワード・支部を築いていくためには欠かせない存在なのです。

会員が進んで時間と才能を教会にささげるとき，証は強くなり，霊性は高められます。教会の確立に全力で携わることで，会員たちの生活が変わっていくのをわたしはいろいろなところで見てきました。そんな人たちの中に，カルロス・カサリエゴ，ロサリオ・カサリエゴ夫妻がいます。



カルロスとロサリオに初めて会ったのは，わたしがウルグアイで専任宣教師として働いていたときでした。当時10代だった二人は，福音を受け入れ，福音の原則に熱心に従っていました。

1970年の12月にカルロスはバプテスマを受け，その3か月後，話の割り当てを受けてロサリオの家族のバプテスマ会に出席したときに彼女と出会いました。バプテスマを受けてからカルロスとロサリオはともに青少年の責任に召され，その後間もなく，それぞれ責任を受けていた組織の会長となりました。二人はウルグアイでセミナリーとインスティテュートのプログラムが始まったときの最初の生徒でもありました。さらに，ロサリオはステークの初等協会会長会で奉仕し，カルロスは「ヌエストロ・ムンド」（Nuestro Mundo）（スペイン語で「わたしたちの世界」の意）という毎週放送されていた教会のテレビ番組に出演するようになりました。

1975年，カルロスとロサリオは結婚の計画を立てていました。あるとき，二人は地区大会に出席し，そのことが彼らの人生設計を変えることとなりました。その大会で，スペンサー・W・キンボール大管長（1895－1985年）は，すべての資格ある若い男性は専任宣教師として伝道に出ることを真剣に考えるように，また若い女性は男性のその目標を支持するように，と若人に向けて話したのです。

カルロスとロサリオは預言者の勧告に従おうと決心しました。年内にカルロスはウルグアイ・パラグアイ伝道部に召され，6か月後，ロサリオもアルゼンチンでの伝道を開始しました。二人の献身的な働きによって，多くの善良な人々と未来の指導者たちがバプテスマを受けて教会員となりました。

1981年の6月に結婚してからは，4人の子供に恵まれ，教会で多くの責任を果たしてきました。故郷ウルグアイの教会を確立する助けになろうと，力の及ぶかぎりすべてのことをしました。カルロスとロサリオの主に対する献身的な働きは，二人の奉仕を受けた人々にとって祝福となっただけでなく，彼ら自身の生活にも祝福をもたらしました。彼らは，ウルグアイに堅固で世代を超えた教会を確立できるよう全力を尽くした，善良な人々の良い例です。

パウロは，コリント人への第一の手紙第3章9節で，わたしたちにこう話しています。「わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑であり，神の建物である。」ペテロも同じように教えました。「この主のみもとにきて，あなたがたも，それぞれ生ける石となって，霊の家に築き上げられ，……イエス・キリストにより，神によろこばれる霊のいけにえを，ささげなさい。」（1ペテロ2：5）わたしたち一人一人も，主の教会を築き上げるために自分の役割を果たす決心をしようではありませんか。近代の偉大な預言者，ブリガム・ヤング（1801－1877年）の言葉です。「わたしたちがシオンを造ろうという気持ちになれば，シオンを造ることができるでしょう。この業は各自の心の中から始まります。」[1] ■

注

1．『歴代大管長の教え――ブリガム・ヤング』125

すべての教会員には賜物（たまもの）と才能が備わっており，自分たちのワードや支部を強める力となります。会員が時間と才能を教会にささげるとき，証（あかし）は強くなります。

右――写真はイメージです。コンピューターグラフィック／マーク・G・バッド

父の勇気のメダル

エマニュエル・フレッキンジャー

第二次世界大戦の陰うつな日々の間，父はドイツ軍の捕虜になっていました。父は（かつてドイツに占領されていた）アルザスから来たフランス人捕虜のグループに入れられ，何もかも不足した状態で，最も必要なものにも事欠いていました。多くの捕虜たちが，特に病気になった人々が，収容所から収容所へ長い距離を歩かされるうちに，飢えにより，風雨にさらされたことにより，あるいは極度の疲労により命を落としました。

このようにドイツへ向けて長く苦しい道のりを歩かされていたとき，哀れな捕虜の列から程近い家で，突然爆発が起こりました。そして家の中に閉じ込められてパニックに陥った人たちの泣き叫ぶ声が聞こえてきました。護送兵たちは警戒を強め，脱走を防ぐために捕虜を集めました。しかし，父は良心の声にだけ耳を傾け，隊列から飛び出すと，弱った足を引きずって全力で走りだしました。護送兵が後を追いかけて発砲しましたが，父は身の危険をを顧みずに走り続けました。

奇跡的に弾は当たりませんでした。兵士たちは，父が炎に包まれた家に飛び込んで行くのを見て，驚いて撃つのをやめました。父はすぐに8歳ぐらいの男の子を抱えて現れました。助けを求める子供の悲鳴を聞いてその子を助け出し，驚いているドイツ兵に手渡したのです。即座に，一人の士官が厳しい口調で言いました。「おまえは自分のしたことが分かっているのか。将来の敵兵を救ったんだぞ。」

父はこの英雄的な行為と数か月間にわたる苦難によってへとへとになっていましたが，驚くほどの確信をもってこう答えました。「敵ではありません。わたしの前にいるのは一人の人間です。わたしの助けを必要としている子供です。わたしは自分がすべきことをしただけです。もう一度しなければならないとしたら，ためらわず同じことをするでしょう。」

父は捕虜の中に戻されましたが，わずかに丁寧な扱いを受けました。そしてこの英雄的な行為があってから，すべての捕虜が以前よりもよい扱いを受けるようになりました。何よりも驚くべきことは，この隊が収容所に到着した後，フランスの軍服を着た父に，ドイツの勲章が授与されたことです。

父が炎に包まれた家に飛び込んで行くのを見て，兵士たちは撃つのをやめました。父はすぐに8歳ぐらいの男の子を抱えて現れました。

父は救い主の次の戒めを理解していました。「わたしがあなたがたを愛したように，あなたがたも互に愛し合いなさい。」（ヨハネ15：12）父は回復された福音を聞く機会のないまま1959年にこの世を去りました。しかし，父が今いる場所でその機会を得て，福音のもたらすすべての教えと祝福を享受できると，わたしは信じています。■

エマニュエル・フレッキンジャーは，フランス・ナンシーステークのコルマール支部の会員です。

娘の祈り

カリ・アン・ラスマセン

経済的な重荷に1年間苦しんだ後，ようやく家族にとって事態が好転し始めたという希望を感じていました。そのときに新たな障害がやって来たのです。それまでの1年，わたしは主を信頼してきました。やがてすべてが解決し，試練を成長の機会として見られる日が来るだろうと信じていました。しかし，新たな障害の出現で，霊的につまずいてしまいました。見捨てられ，打ち負かされたように感じたわたしは，やがて自分の霊を養うことをやめました。教会を休むことは決してありませんでしたが，祈りや断食，聖文の勉強はしなくなりました。もはや神殿に参入することもありませんでした。初等協会の教師としての召しも必要最小限のことしかしませんでした。希望を失ったわたしは，義にかなった生活をしようと努力しても守りを受けられないのなら，なぜ努力する必要があるのだろうかと思いました。

ある夜，寝室でテレビを見ていると，10歳になる娘がモルモン書を持って部屋に入って来ました。娘は「モルモン書を読んでいたけれど，読み方の分からない言葉がある」と言いました。わたしは読み方を教え，娘を部屋へ返しました。

数分後に娘は戻って来て，読んだところの意味が難しくて分からないと言いました。惨めな思いに沈んでいたわたしは，聖文に時間を割く気分ではありませんでした。いらいらした口調でこう言ったのです。「サマンサ，天のお父様にお祈りして，読んでいることが分かるように助けを求めなさい。」

娘は動こうとしませんでした。じっとわたしを見て，静かにこう言ったのです。「祈ったわ。そうしたら，お母さんと一緒に聖文を読む必要があるって強く感じたの。」

わたしは驚いて娘を見詰め，テレビのスイッチを切りました。ベッドを手のひらで軽くたたくと，娘を隣に座らせて，二人でモルモン書の一つの章を読みました。読んでいる内容にあまり注意を払えませんでした。試練に立ち向かうときに天の御父を求める必要があると思い起こさせられたことに，驚嘆していたのです。

その晩から，再び個人の祈りをささげ，毎日聖文を勉強する時間を取るようになりました。少なくとも月に1度神殿に参入するという目標を立てました。驚いたことに，聖文や教会機関誌で読んだことがすべて，直面している問題や自分自身に当てはまるように思えるのです。もう一度自分の霊を養っていきました。そして，重荷に耐えられることが分かったのです。しばしばひざまずいて祈り，主を信頼していなかったことに対して赦しを求めました。わたしは10歳の娘の霊的な感受性と，愛にあふれた御父の優しい助言にいつまでも感謝することでしょう。■

カリ・アン・ラスマセンは，ユタ州マレー西ステーク，マレー第10ワードの会員です。

赦しを通して得た平安

匿名

夫の弟*ジョンが，別の州に引っ越すことになりました。ジョンと妻のアニーと子供たちが引っ越すという事実を受け入れるのは，難しいことでした。多くの時間をともに過ごし，とても親しくしていたからです。

ジョンの家族が引っ越してから数か月後に，夫のロンは弟の家族がどうしているかと訪ねて行きました。皆，新しい地域に溶け込んで楽しんでいました。夫は小さな会社を経営しているので，戻って来て一緒に働きたければいつでも席があることをジョンに伝えました。そこまで話したとき，ジョンの妻のアニーが口を挟んで，その申し出にはまったく関心がないときっぱり言いました。そして，ロンとロンの仕事について思いやりのないことを少し言ったようでした。

ロンは家に帰り，この会話の内容を話してくれました。夫は気にしていないそぶりをしようとしましたが，深く傷ついていたことは確かでした。わたしはひどく怒り，アニーにすぐに電話して彼女の間違いを正したいと思いました。

実際には電話しませんでしたが，一度感情を損ねると，彼女に対する悪い思い

絵／ブライアン・コール

わたしは結婚式でアニーを避けるようにしていましたが，レセプションが終わりに近づいたころ，アニーと二人きりでいすに座っていました。アニーを見詰めると，わたしの心は御霊に満たされました。

が次々とわいてきました。アニーの欠点を探し始め，家族や友達に悪口を言いました。ほんとうのところは，わたしの心に高慢が入り込んで根を張り，愛をしおれさせていったのです。

ちょうど伝染病が広がって健康を害し，肉体に苦痛をもたらすように，高慢は霊に対して同じことを行います。夫はその出来事を忘れて久しいのに，わたしの心は感染したままでした。自分がどんなに傷ついたかばかり考えて，家族にも怒りっぽくなり，どんなことでもすぐに悪いことばかり考えるようになりました。自分自身にとらわれていたので，人を愛し仕える気持ちにはなれなかったのです。

数か月後に，ジョンとアニーが家族の結婚式に出席するために町にやって来ると聞きました。ついに彼女と顔を合わせなければならなくなったのです。会うのは恐ろしい気がしましたが，避けて通ることはできません。結婚式が近づくにつれて，不安が大きくなっていきました。そのような感情に取りつかれていること自体が気持ちよくありませんでしたし，それが間違っていることも知っていました。自分の否定的な感情を克服できるように助けを求めて何度も救い主に祈りました。そしてついに，アニーに対するよい感情が心を満たし始めたのです。

結婚式でアニーに会ったとき，軽くあいさつを交わしました。その晩ずっと彼女を避けるようにしながらも，わたしは彼女を見ていました。見ているうちに，アニーがいなくてどんなに寂しかったかが分かってきました。赦しのもたらす平安を求めて心が痛み，アニーに対する愛が込み上げてきました。

夜の歓迎会が終わりに近づいたころ，わたしはアニーと二人きりでいすに座っていました。初めにあいさつをしてからまだ言葉を交わしていませんでした。アニーを見詰めると，わたしの心は御霊に満たされました。両手を伸ばして彼女の頬に触れました。涙があふれてきて，こう言いました。「アニー，あなたがいなくてとても寂しかったわ。」わたしたちは抱き合って泣き，赦しのもたらす平安に満たされました。

お互いに謝ったのか，あるいはそれまでの気持ちを説明したのか，覚えていません。それはどうでもよいことです。大切なのは，わたしたちが感じた愛と，赦したいという気持ちでした。そのときまで，自分がどんなに大きな重荷を負っていたのか気づきませんでした。高慢は心の重荷であって，不必要なものです。しかし，救い主の完全な愛を感じることによって，さわやかな喜びに満たされ，へりくだることができたのです。■

*名前は変えてあります。

濃霧の中の羅針盤

林 宗廷（リン チュンチン）

数年前，わたしは徴兵されて台湾の海軍に配属されました。下士官になり，港に出入りするすべての船舶を誘導する船の分隊長として働きました。

ある早春の朝，同僚たちとともに，入港して来る1隻の船を誘導するといういつもの指令を受けました。初めのうちは天気が良かったのですが，港を出ると濃い霧に包まれました。視界は3メートルもありません。それほどひどい春の濃霧を経験したことがなかったので，わたしたちは緊張し，方角が分からなくなってしまいました。あっという間に進路を見失い，現在位置や進むべき方向が分からなくなりました。

わたしは乗組員の中で最も経験があり，その海域をよく知っていたので，船長はわたしに，羅針盤を使って現在位置を確認し，全員で港の入り口に戻り，任務の遂行を一時中止するように命じました。さもなければ，今にも暗礁（あんしょう）に乗り上げるか，中国本土に異常接近する恐れがありました。

わたしはそれまでに羅針盤が必要になるような濃霧に遭遇したことがなく，羅針盤の定期点検や手入れ，修理を怠っていました。ですから方位を知るためにぜひとも必要になったとき，羅針盤はまったく動きませんでした。船長はわたしをしかりつけて言いました。「おまえが全員を危険な目に遭わせたんだ。今にも座礁するかもしれないぞ。」

船長の言うことが正しいのは分かっていました。わたしは打ちひしがれて頭を垂れ，心の中で天の御父に祈りました。自分の怠惰に対して赦（ゆる）しを求め，霧から逃れて桟橋に戻れるように助けを願いました。祈り終えると，突然心にある考えが浮かんできました。わたしは船長に，進路をある方向に変えて低速で進み，海岸を見つけるように提案しました。船長は賛成し，それから間もなく，わたしたちは港の南側にある花崗岩（かこうがん）の崖（がけ）にたどり着き，岸壁沿いにゆっくり進んで港に入りました。そして無事に帰り着いたのです。

この経験によって，わたしは天の御父が祈りを聞いてくださることを知りました。適切な予防策を怠っていたにもかかわらず，霊的な導きという羅針盤が働いて，わたしたちを港へと導いてくれたことに感謝しています。

今では，よく次のように自問します。霧に備えるためにできることをすべて行っているだろうか。最近，霊の羅針盤を点検しただろうか。神と調和した生活を送っているだろうか。信仰に忠実だろうか。汚れていないだろうか。これらはわたしたちがチェックすべき項目です。もしできていなければ，霊的な霧に覆われたときに，罪という暗礁に乗り上げて，恐らく港に戻る道を見いだすことはできないでしょう。

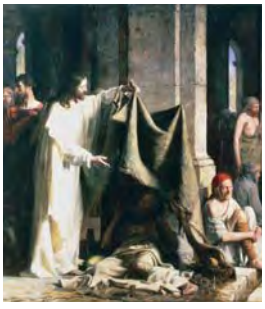
天の御父がわたしたち一人一人に霊のリアホナ（羅針盤）を与えてくださったことに感謝します。勤勉で忠実であるならば，聖霊に頼ることができます。そして，安全な港へと航海し，天の家に戻ることができるのです。■

林宗廷は，台湾・台中ステーク，台中第4ワードの会員です。

港を出ると濃い霧に包まれました。視界は3メートルもなくて，あっという間に進路を見失いました。

最も小さい者に

ビクトル・ギジェルモ・チャウカ・リベラ



人に心を配り，尽くすときに真の喜びを感じるのです。その喜びは，神に仕えて得られるものなのです。

その日は土曜日で，わたしの経営する法律事務所には，まだ仕事が残っていました。しかしステーク会長であるわたしは，ステークの扶助協会の姉妹たちと奉仕活動に参加する約束をしていました。姉妹たちはペルーのリマにあるセルジオ・ベルナーレス・デ・コジケコマス病院に入院している子供や出産間近な女性を訪問することになっていました。時間をかけて作ったキルトやおもちゃを届けるだけではなく，霊的な意味でも力になろうと思っていたのです。

ほかの用事を差し置いて病院へ向かう途中のことでした。その日思い巡らせた多くの聖句のうち，まず次の聖句が心に浮かびました。「また，いつあなたが病気をし，獄にいるのを見て，あなたの所に参りましたか。すると，王は答えて言うであろう，『あなたがたによく言っておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは，すなわち，わたしにしたのである。』」（マタイ25：39－40）

温かく，平安な思いで心が満たされていきました。そしてこれから経験することが，特別なものになるであろうと悟ったのです。また御霊（みたま）のささやきによって，主がわたしをステーク会長として召されたのは，人に対して，とりわけ病気の人や困っている人に対して愛を示し，助けの手を差し伸べるためであったことも分かりました。その日は一日中，救い主とその哀れみ深い生涯が心から離れることはありませんでした。そして救い主に近づく

ペルー・リマ・コマス ステークの扶助協会の姉妹たちは，チャウカステーク会長とともに地元の病院で奉仕しました。

「ベテスダの池」カール・ヘンリック・ブロック画，©ブリガム・ヤング大学美術博物館の厚意により掲載，版権所有
写真／著者の厚意により掲載

ために，わたしたちなりのささやかな方法で活動しました。

病院に到着すると，60人が出迎えてくれました。これほどまでに温かい心と笑顔で歓迎されたことはかつてありませんでした。そして扶助協会の姉妹たちが病院に一歩足を踏み入れると，物悲しく気のめいるようなこの場所が，光と喜びで満ちていったのです。

「イエスは彼らを祝福された。……イエスの顔の光が彼らを照らした。」（3ニーファイ19：25）

まず，肺炎で人工呼吸器をつけた幼い男の子を訪問しました。男の子の母親はベッドの足もとに腰かけていました。「信仰を持ってね」と姉妹たちが母親に声をかけました。この善良な姉妹たちから慰めの言葉をかけられた母親は，希望と喜びを浮かべていました。

「イエスは……言われた，『神を信じなさい。』」（マルコ11：22）

次に，病気の息子に付き添っている父親に会いました。父親は，一緒に記念写真が撮れるよう，息子を車いすに座らせました。姉妹の一人が，まるでこの息子のためにあつらえたようなジーンズを渡しました。「元気になったら，一番にこれをはくよ。」この男の子は大喜びでわたしにそう言ってくれました。

「『下着を2枚もっている者は，持たない者に分けてやりなさい。』」（ルカ3：11）

それから出産を終えたばかりの10代の母親たちを訪問しました。一人はまだ14歳で，死産だったそうです。姉妹たちは彼女の肩に手を置き，慰め，思慮深い助言を与えました。わたしはこのすばらしいシオンの姉妹たちが，自分たちの抱える多くの問題をひととき忘れ，自分の持てるものを与えている姿を見て，涙があふれてきました。

上――少年が，まるであつらえたようなジーンズを受け取ると，「元気になったら，一番にこれをはくよ」と言った。左下――チャウカステーク会長と扶助協会の姉妹から贈り物と励ましの言葉をもらった男の赤ちゃんとその母親。右下――出産を終えたばかりの10代の母親は，扶助協会の姉妹の明るい笑顔に励まされた。

右――子供を亡くした母親を慰めるファニー・マンドゥハノ・ウルギアガ姉妹(左)。左下――脳死となった娘を持つ母親は『リアホナ』を受け取り，再会の約束をした。右下――少女に贈り物を渡して励ますペルー・リマ・コマスステークの扶助協会会長ニラ・マチャド・デ・ビラ・ヌエバ。

「あなたがたは……重荷が軽くなるように，互いに重荷を負い合うことを望〔む。〕」（モーサヤ18：8）

ある部屋では，脳死となった娘に一人付き添っている女性がいました。この母親は何日も病院で寝泊まりしていました。市外からではとうてい通えず，ほかに泊まる所もなかったのです。わたしは御霊を感じて，声をかけました。「わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の神権者です。お嬢さんに祝福をしてもいいですか。」母親は目に涙を浮かべて答えました。「お願いします。」一度も感じたことのない気持ちでした。そして聖なる神権を持ち，この女の子を祝福する機会にあずかれたことを，天の御父に感謝しました。

「〔イエスは〕……手をその上において祝福された。」（マルコ10：16）

姉妹たちはこの苦しむ母親に『リアホナ』を1冊渡して，また後日訪ねることを約束しました。

「イエスは女に答えて言われた，『……わたしが与える水を飲む者は，いつまでも，かわくことがないばかりか，わたしが与える水は，その人のうちで泉となり，永遠の命に至る水が，わきあがるであろう。』」（ヨハネ4：13－14）

訪問を終え，わたしはその日病院を訪れた人たちが皆，まるで別人になったように感じました。姉妹たちの笑顔を眺めながら気づいたことがあります。人に心を配り，尽くすときに真の喜びを感じるのです。その喜びは，神に仕えて得られるものなのです。

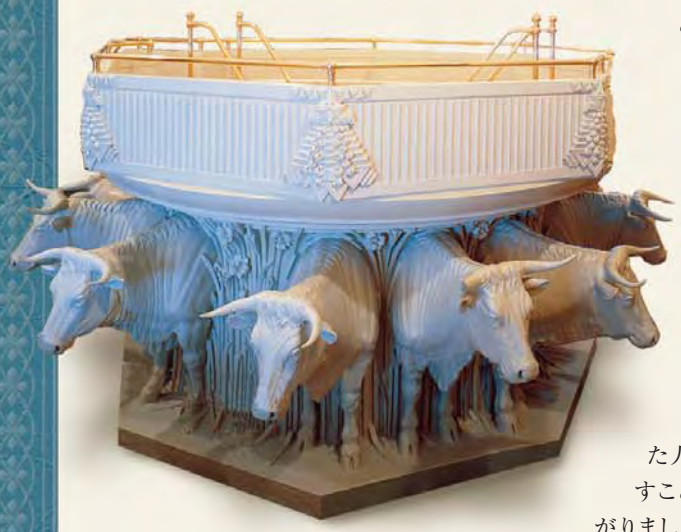
「もしこれらのことがわかっていて，それを行うなら，あなたがたはさいわいである。」（ヨハネ13：17） ■

ビクトル・ギジェルモ・チャウカ・リベラはペルー・リマ・コマスステーク，ラマールワードの会員です。

御存じでしたか？

「天でつながれ」

預言者ジョセフ・スミスは，迫害のせいで聖徒たちの前に公然と姿を現すことができない時期がありました。しかし1842年9月1日に，預言者は聖徒たちに向けて1通の手紙を書き送りました。その手紙は，



現在教義と聖約第127章に収められています。そこには死者のためのバプテスマに関する重要な指示が含まれています。

「まことに，あなたがたの死者について，主はこのように言う。あなたがたのうちのだれでも，あなたがたの死者のためにバプテスマを受けるときは，記録者がいるようにしなさい。そして，彼があなたがたのバプテスマの見証者となり，その耳で聞くようにしなさい。それは，彼が実際に証できるようにするためである，と主は言う。

また，あなたがたの記録するすべてのことについて，それが天でも記録されるためであり，あなたがたが地上でつなぐことが何でも天でつながれ，あなたがたが地上で解くことが何でも天で解かれるためである。」（教義と聖約127：6－7）

聖徒たちは，この世を去った人々のためにバプテスマを施すことができると知って士気が上がりました。預言者からこれらの教えを受けて，聖徒たちは正確な記録を残すよう努めるようになりました。儀式を受けた人々の名前を記録することは，今日でも重要な神殿活動の一つです。

左上から時計回りに――カナダ・アルバータ州カードストン神殿のバプテスマ室の写真。 ©INTELLECTUAL RESERVE, INC。無断転載を禁ずる。「モルモン書を翻訳中のジョセフ・スミス」デル・パーソン画。ロレンゾ・スノーの写真。「手車隊の家族」ミネルバ・K・タイカート画。「ノーブーの戦い」C・C・A・クリステンセン画。 ©ブリガム・ヤング大学美術博物館の厚意により掲載。版権所有。

それは9月の出来事でした

教会歴史の中で9月に起こった重要な出来事を幾つか紹介します。

1846年9月17日――ノーブーに残っていた聖徒たちは，立ち去ると同意したにもかかわらず，市から追い立てられました。結局ノーブーを明け渡す結果となったこの包囲攻撃は，ノーブーの戦いとして知られています。

1860年9月24日――1856年から1860年にわたって大平原を横断した10隊の手車隊のうち，最後の隊がソルトレーク・シティーに到着しました。

1898年9月13日――ロレンゾ・スノー大管長が第5代大管長として聖任されました。スノー大管長は84歳でした。

あなたの知識を試してみましょう

4年間準備した後，ジョセフ・スミスは9月のある朝早くクモラの丘に向かいました。そして金版を受け取ったのです。それからジョセフは，モルモン書の翻訳という重要な仕事に取りかかりました。モルモン書の翻訳と最初の出版について，あなたはどれほど知っていますか。

1. ジョセフ・スミスが最初に金版を受け取ったのは9月でした。何年の何日か知っていますか。
   a. 1822年9月21日
   b. 1823年9月22日
   c. 1827年9月22日

2. ジョセフ・スミスは，優に1年を超える期間，金版を手もとに持っていましたが，毎日翻訳していたわけではありません。モルモン書の翻訳に費やしたのは何日ぐらいだったでしょうか。
   a. 60日
   b. 80日
   c. 100日

3. 幾人かがそれぞれの時期に筆記者として働きました。ジョセフ・スミスがモルモン書を翻訳するときに，筆記者として最も多く筆記したのはだれだったでしょうか。
   a. マーティン・ハリス
   b. オリバー・カウドリ
   c. エマ・スミス

答え――1. c，2. a，3. b

『リアホナ』2003年9月号の活用法

レッスンのためのアイデア

●「信仰により教える」10ページ――ロバート・D・ヘイルズ長老は両親と教師に向けて，子供たちに無理に信仰を持たせることのないよう注意しています。「信仰は内側から来るものであり，信仰を受けて，生活の中で行使したいという望みを基としています」とヘイルズ長老は説明しています。子供たちが信仰を持ちたいと望めるよう，どのような助けができるでしょうか。人生に必ず襲いかかる嵐に打ち勝てるよう，どのように子供たちを備えさせることができるでしょうか。

●「最も小さい者に」44ページ――あるステーク会長は，地元の病院を慰問する扶助協会の姉妹たちについて語っています。そして，姉妹たちの経験を幾つかの聖句にたとえています。聖典の物語は，奉仕の業を行ううえでどのように力づけてくれるか話し合いましょう。聖典の中の出来事を一つ選び，クラスや家族で奉仕の計画を立てる際に指針とすることもできるでしょう。

●「雪の上の足あと」F2ページ――クラスや家庭で，トーマス・S・モンソン副管長の話を読みましょう。「神にはなんでもできない事はない」とはどういう意味か話し合ってください（マタイ19：26）。

今月号に採り上げられているテーマ

Fは『フレンド』の略

愛……30，40
証……2，10
イエス・キリスト …2，32，44，F12
教え……10，48，F8
音楽……18
改宗・改心……F12，F14
家族歴史……30
家庭の夕べ……48
家庭訪問……25
逆境……26，40
教会の召し……36
教会歴史……47
悔い改め……40，F8
啓示……25
高慢……32，40
使徒……36，F10，F12
指導性……48
従順……F4
祝福師の祝福……22
初等協会……F4，F14
信仰……10，40，F2，F10
神殿と神殿活動……47，F16
新約聖書……2，32，F10，F12
誠実……8
青少年……10，18，24
聖文研究……2，26，40
聖霊……10，40，F4
世界に広がる教会……F6
選択の自由……F4
備え……25
たとえ……32
伝道活動……F2
フェローシップ……22，F14
奉仕……18，32，36，44
モルモン書……47
友情……8，22，F8
預言者……36

配送センターより

幼い子供がいる家庭に最適な『モルモン書ものがたり』（アイテム番号35666　300）が多数の言語で入手できることを御存じですか。この本は，モルモン書の聖句を絵に描いたもので，子供が読みやすいように簡単に書かれています。両親が子供に聖典の物語を読み聞かせるのにも役立ちます。分かち合いや家庭の夕べのレッスンでもこの本を使うことができるでしょう。注文や価格については，地元の配送センターまたはワード／支部の指導者にお尋ねください。

写真／クレーグ・ダイモンド，写真はイメージです。

「二人の使徒を召されるキリスト」ゲーリー・E・スミス画

「さて，イエスがガリラヤの海べを歩いておられると，ふたりの兄弟，すなわち，ペテロと呼ばれたシモンとその兄弟アンデレとが，海に網を打っているのをごらんになった。彼らは漁師であった。イエスは彼らに言われた，『わたしについてきなさい。あなたがたを，人間をとる漁師にしてあげよう。』」（マタイ4：18－19）

リアホナ 2003年9月20日発行（毎月1回20日発行）第5巻第9号 昭和42年12月18日第3種郵便物認可 ISSN 1344-8595

井戸端のサマリヤの女に語られる救い主の御姿（表紙）や，良いサマリヤ人のたとえ（上）を通して，ペテロは，「神を敬い義を行う者はどの国民でも受けいれて下さる」という証を得ました（使徒10：35）。「新しい契約は『更にすぐれた契約』です。なぜならば，それは心と思いの向きに，また聖なる御霊の促しに多くが任されるからです。この魂の浄化は個人的なイエス・キリストの証を築く骨組みの一部なのです。心の中に，また思いの中に聖霊の力による証がなければ，証は決して存在し得ないのです。」ジェームズ・E・ファウスト副管長「更にすぐれた契約の保証」2ページ参照

2 902239 893003 23989 300